

令和4年度

環境・生態系維持・保全活動等調査事業

海浜等清掃活動実施状況調査

報告書

(海の羽根基金事業)

令和5年3月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

まえがき

この報告書は、令和4年における海浜等清掃活動実施状況（1～12月）のとりまとめを47都道府県にお願いし、37都道府県から回答を頂き、その結果を集計したものです。

令和4年も新型コロナ感染対策をしながらの活動となりました。しかし徐々に清掃活動参加者は増えてきて、令和3年と比較して清掃活動の回数は1.1万回から1.7万回、参加者は42万人から61万人へと増えています。とはいえ感染症対策を行いながらの実施ですので、主催者、参加者の方々のご苦労されながらの活動と思います。

海浜等清掃活動に参加された方々は、どのような漂着ごみが多かったと感じていらっしゃるのでしょうか。生活ごみ、漁具、見たことない物体……。

令和4年3月の第5回国連環境総会再開セッションにおいて、プラスチック汚染を終わらせる国際約束にむけて動くことが決まりました。その他の国際会議でも海洋プラスチックごみ削減に向けた話し合いがされているそうです。

漂着ごみはプラスチックだけではなく、国際会議で海洋プラスチック削減に向けた話し合いが多くされるほど、漂着ごみを直接見て、触れる海浜等清掃活動の重要性は高まっていくと思います。

本報告書が、全国の海、河川、湖沼を清掃している方々の活動にお役立て頂けますと幸いです。

令和5年3月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

業務2課長 福田賢吾

目 次

1 調査結果の概要	1
2 調査方法	2
2-1 調査の手順	2
2-2 調査票の配布先と回収状況	3
3 調査結果	14
3-1 活動の規模	14
3-2 ごみの回収状況	29

1 調査結果の概要

この調査は、各都道府県に調査票を配布し、その回答を集計した。(37 都道府県から回答があった。表 1 参照)

■活動回数及び活動場所

令和 4 年(1-12 月)は、全国で 16,935 回の清掃活動が行われ、61 万人が参加した。(コロナが全国的に拡大した令和 2 年は 10,982 回、32 万人、令和 3 年は 11,588 回、43 万人)

清掃活動を行った時期は、5 月、6 月、7 月が多く、この 3 ヶ月で全体の 37%にあたる 6,246 回の活動が行われた。

参加人数を清掃場所別にみると、海岸と河岸での清掃活動が多く、海岸の清掃に参加した人数は 48 万人、河岸の清掃に参加した人数は 12 万人と、この 2 ヶ所で全体の 98%(60 万人)を占めていた。

清掃距離を参加人数で除した 1 人あたりの清掃距離は、海岸が 30m、河岸が 16m、湖岸が 20m であった。

■清掃活動の主催団体数及び清掃活動への参加団体数

清掃活動の主催及び清掃活動への参加の両方で「地域関係(自治会・子供会・商工会など地域に根差した組織)」の占める割合は高く、主催団体数で 31%、参加団体数で 30%を占めた。また、「企業関係(電力会社、製造業、金融、サービス業、職員組合等。水産会社は除く)」は主催団体数で 12%、参加団体数で 17%、「水産関係(漁協・漁連・水産会社等)」は主催団体数、参加団体数ともに 17%を占め、この 2 つの団体は、「地域関係」に次いで清掃活動で大きな役割を果たしていた。

参加者の内訳(男女比率等)は、成人男子が 63.5%、成人女子が 21.2%、大学生が 0.5%、中・高校生が 7.7%、小学生以下が 7.1%であった。

■ごみ回収量

この清掃活動によるごみの回収量(ごみの種類を把握しているものと総量のみ把握しているものの合計値)は、3 万 7 千 m^3 (重量換算で 7,400 トン)であった。

清掃を行った場所は海岸が 3 万 4 千 m^3 と最も多く、次いで河岸の 2.8 千 m^3 で、この 2 つで全体の 99%を占めた。

清掃活動参加者 1 人あたりのごみ回収量は、海域(海上)が最も多く 0.26 m^3 、次いで海岸の 0.11 m^3 、湖域(湖上)の 0.06 m^3 、河岸の 0.04 m^3 が続き、最も少なかったのは湖岸の 0.03 m^3 であった。

海岸(河岸・湖岸を含む)1km あたりのごみ回収量では、湖岸の 4.00 m^3 が最も多かった。

2 調査方法

2-1 調査の手順

本調査は、基本的に図 1 に示す手順で実施した。

清掃活動で回収したごみの量(単位)は、報告者が簡単に記入できるように体積(m³)表記とした。

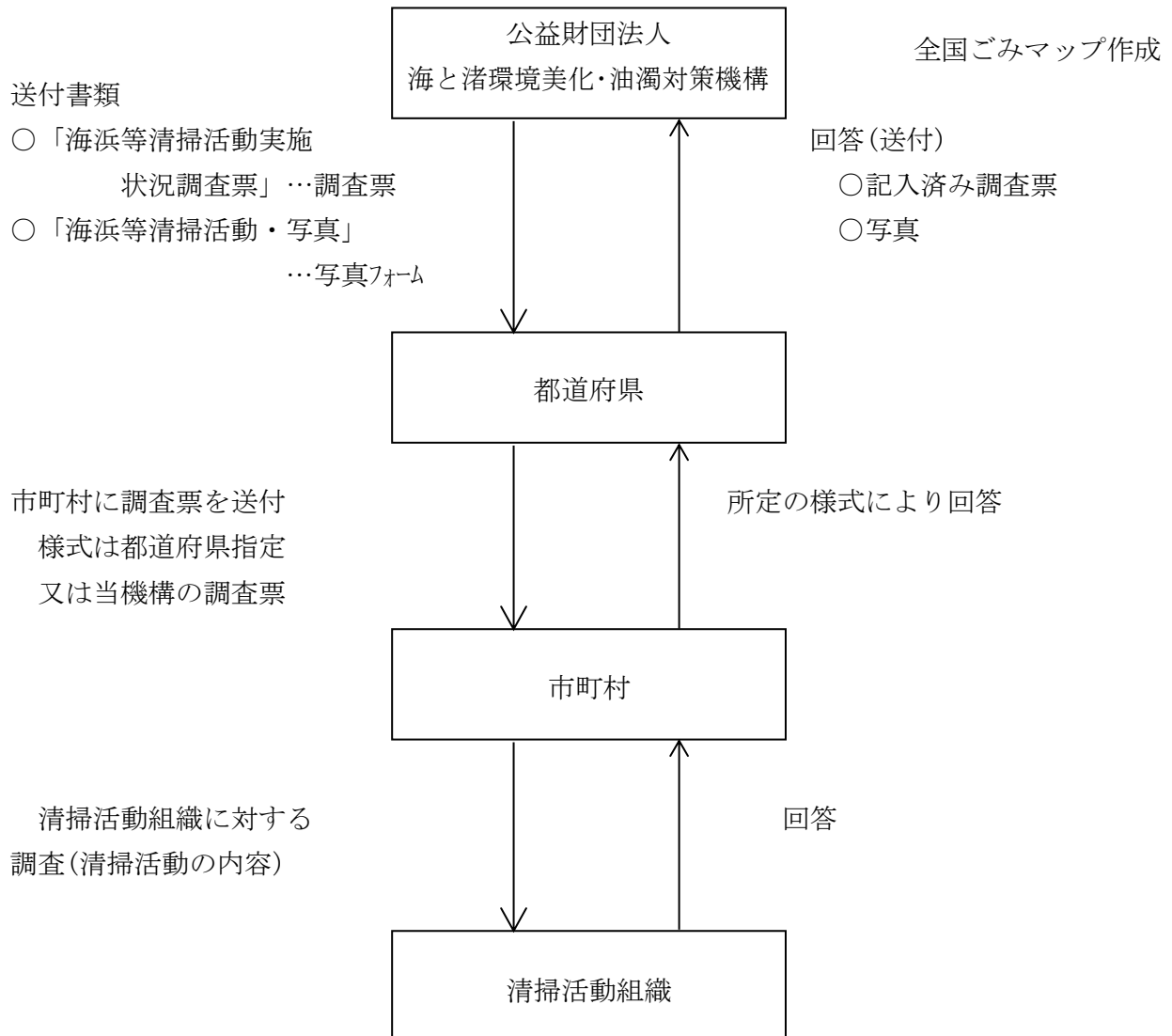


図 1 全国ごみマップ作成手順

2-2 調査票の配布先と回収状況

調査票は全都道府県(47 都道府県)に配布し、表 1 に示す 37 都道府県から回答を得た。

表 1 調査票の回収状況

整理番号	都道府県名	回収	整理番号	都道府県名	回収
1	北海道	○	25	島根県	○
2	青森県	○	26	岡山県	○
3	岩手県	○	27	広島県	○
4	宮城県	○	28	山口県	○
5	秋田県	○	29	徳島県	○
6	山形県	○	30	香川県	○
7	福島県		31	愛媛県	○
8	茨城県	○	32	高知県	
9	千葉県	○	33	福岡県	○
10	東京都	○	34	佐賀県	○
11	神奈川県	○	35	長崎県	○
12	新潟県	○	36	熊本県	○
13	富山県	○	37	大分県	○
14	石川県	○	38	宮崎県	○
15	福井県	○	39	鹿児島県	○
16	静岡県	○	40	沖縄県	○
17	愛知県	○	41	栃木県	
18	三重県	○	42	群馬県	
19	滋賀県		43	埼玉県	
20	京都府		44	山梨県	
21	大阪府	○	45	長野県	
22	兵庫県	○	46	岐阜県	○
23	和歌山県	○	47	奈良県	
24	鳥取県	○	回収数		37

注：「網掛け」は回答が得られなかった府県

調査票 (1)

海浜等清掃活動実施状況調査票の記入について
(個別調査票の場合)

本調査票の作成にあたっては、以下の要領にしたがって作成願います。

- 1) 清掃活動が数日に亘る場合には連続する清掃活動は1回として記入して下さい。
- 2) 把握している範囲の内容について記入して下さい。
- 3) 体積(m³)換算

ごみ問題の検討のためには体積(m³)で把握するほうが判断しやすく、また清掃実施者が簡便に定量的に記入できることから、本調査では体積で集計することとしました。体積(m³)換算するための、目安となる表を参考として次に示しますので、見た目での概数で結構ですから体積表示でご記入して下さい。なお、この表は水域環境改善全国協議会事業の調査で使用して来たものです。不明な場合は 200kg=1m³として計算して下さい。

体積(m³)換算の目安

項 目	数 量	体 積 の 目 安	備 考
マルブルー 21 ごみ袋(自然物ごみ用)	約33袋	約 1 m ³	0.03m ³ /1袋×33袋=0.99m ³
マルブルー 21 ごみ袋(人工物ごみ用)	約66袋	約 1 m ³	0.015m ³ /1袋×66袋=0.99m ³
ごみ袋大(65cm×80cm)	約20袋	約 1 m ³	0.045m ³ /1袋×20袋=0.9m ³
ごみ袋特大(80cm×90cm)	約14袋	約 1 m ³	0.07m ³ /1袋×14袋=0.98m ³
ドラム缶：鋼製ドラム 1種(200ℓ) (直径約 57cm×高さ約 85cm)	1 缶	約0.2 m ³	0.2m ³ /1 袋×5 缶=1.0m ³
軽トラック	1 台	約2.0 m ³	
1 t トラック	1 台	約2.5 m ³	
2 t トラック	1 台	約 5.0 m ³	
4 t トラック	1 台	約 9.0 m ³	

海浜等清掃活動実施状況調査票

記入年月日	令和 年 月 日
記入者 氏名	
〃 所属機関	
連絡先所在	都道府県名プルダウン 市 町 村
電話番号	
報告書送信先 メールアドレス	@

調査票 (3)

1. 事業の概要

(1)月別の清掃活動実施回数を入力してください。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

(2)清掃を実施した場所別に清掃を行った距離,面積を入力してください。

	清掃距離 (km)	面積 (km ²)
A 海岸		
B 海域		
C 河岸		
D 湖岸		
E 湖域		
計		

(3)参加者数について

1)清掃を実施した場所別に参加者数を入力して下さい。

	参加者延べ人数(人)
A 海岸	
B 海域	
C 河岸	
D 湖岸	
E 湖域	
計	

2)参加者の内訳を入力して下さい。

①総数	②成人男子	③成人女子	④大学生	⑤中・高校生	⑥小学生以下	⑦不明
名	名	名	名	名	名	名

※④⑤⑥については、男女の合計人数を入力してください。

※成人は学生を除く 15 歳以上の方を指します。

※総数は自動で計算します。

調査票 (4)

2. 清掃活動について

(1) 令和4年の清掃活動一覧(HP等で公開可能な情報のみ入力してください。なお、「回収ごみの処分方法」の個別情報は公開しません。)

市町村名*	開催日*2		活動名 大会名*3	主催者 名	区分*4	清掃地名 *5	参加者 数 (人)	清掃距離(km)・面積(km2)*6					回収量(m³)*7			回収ごみの処 分方法*8		
	月	日						海岸 (km)	海域 (km²)	河岸 (km)	湖岸 (km)	湖域 (km²)	総 量	人 工 物	自 然 物	行 政 に 依 頼	民 間 に 依 頼	そ の 他
〇〇〇市	7	20	〇〇〇海岸清掃 (7月)	〇〇観光協会	ア、エ	〇〇海岸	10	2	3				5	2	3	〇		
〇〇〇市	8	15	〇〇〇海岸清掃 (8月)	〇〇商店会	ア、エ	〇〇海岸	15	1					1	1			〇	
〇〇〇市	9	23	△△△湖 一斉清掃	〇〇クラブ	イ、カ	△△△湖	20				2	3	3					〇
1													0					
2													0					
3													0					
4													0					
5													0					
6													0					
7													0					
8													0					
9													0					
10													0					
11													0					
12													0					
13													0					
14													0					
15													0					
													0					
合計							0人	0km	0km²	0km	0km	0km²	0m³	0m³	0m³	0件	0件	0件

- *1: 開催地が属する市区町村名を入力して下さい。
- *2: 〇月〇日と入力して下さい。
- *3: 名称が無い場合は空欄にして下さい。
- *4: 主催者の区分を記入して下さい。主催者には「呼びかけ人」を含みます。
 ア 行政(国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等)
 イ 学校関係(小・中・高校、PTA、職員組合等)
 ウ 水産関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、水産会社等)
 エ 海運・港湾関係(海運会社、港湾荷役会社、港湾運送会社等)
 オ 地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、商工会、商店会、NPO、観光組合、海水浴場組合等)
 カ 青少年団体(ボーイスカウト、スポーツ少年団等)
 キ 企業関係(電力会社、製造業、金融、サービス業、職員組合等、なお水産会社は除く)
 ク マリンレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体等)
 ケ その他(上記以外の各団体)
- *5: 地区名、海岸名等を入力して下さい。なお、海域、湖域については〇〇海域、〇〇沖合、〇〇湖東部などと入力して下さい。
- *6: 海岸(河岸・湖岸)の場合は実際に清掃活動の対象とした距離(km)を、海域(海上・海底)、湖域(湖上・湖底)の場合は探索・回収活動の対象面積(km2)を入力して下さい。
- *7: ごみの回収量(人工物、自然物、総量)を入力して下さい。総量しかわからない場合は総量のみを入力して下さい。
- *8: 行政が無料又は有料で引き取ってくれる場合は「行政に依頼」、民間の産廃業者などに処分を依頼する場合は「民間に依頼」、再資源化などその他の方法で処分する場合は「その他」を選択して下さい。

調査票 (5)

(2)令和4年清掃活動団体一覧(HP等で公開可能な情報のみ入力してください。なお、「活動資金・物品の支援」の個別情報は公開しません。)

例	市町村名*1	団体名 (報告書に掲載可能な団体を記載して下さい。)	清掃活動歴 (年数)*2	区分*3	参加形態*4	延べ参加者数*5	活動資金・物品の支援*6(複数回答可)			
							ア:行政の支援	イ:民間団体の支援	ウ:自己負担	エ:その他参加者が負担
例	〇〇〇市	〇〇海岸美化クラブ	8	キ	主催・参加	10	○		○	
1										
2										
3										
・										
・										
・										
15										

- *1: 団体の本部又は支部の住所地の市町村名を記入して下さい。
- *2: 正確に分からなければ、おおよその年数で構いません。
- *3: 団体について、該当する組織の種類をア～ケの中から選んで下さい。
 - ア 行政(国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等)
 - イ 学校関係(小・中・高校、PTA、職員組合等)
 - ウ 水産関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、漁港)
 - エ 海運・港湾関係(海運会社、港湾荷役会社、港湾運送会社等)
 - オ 地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、商工会、商店会、NPO、観光組合、海水浴場組合等)
 - カ 青少年団体(ボーイスカウト、スポーツ少年団等)
 - キ 企業関係(電力会社、製造業、金融、サービス業、職員組合等、なお水産会社は除く)
 - ク マリンレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体等)
 - ケ その他(上記以外の各団体)
- *4: 令和4年(1月～12月)に清掃活動を主催(呼びかけを含む)した場合は「主催」を、清掃活動に参加した場合は「参加」を、両方の場合は「主催・参加」を選択して下さい。
- *5: 令和4年(1月～12月)に清掃活動に参加した団体関係者(職員・会員等。一時参加者を含む)の人数(累計＝延べ人数)を入力して下さい。
 - 清掃活動を主催(呼びかけを含む)した場合、他団体の参加者は参加者数に含めないで下さい。1(3)と合計値が合わなくても良いです。
- *6: 清掃活動に要する資材(ゴミ袋・軍手・トンガなど)や費用について支給又は助成があった場合、該当するものをア～エの中から選んで入力して下さい。
 - (複数回答可)
 - ア:行政からの助成金、イ:民間団体からの助成金、ウ:自己負担、エ:その他(参加者が負担)

調査票 (6)

3. 回収したごみの内訳について

A－海岸で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フロート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自然物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計			0 m ³

B－海域で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フロート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自然物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計			0 m ³

調査票 (7)

C-河岸で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フロート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自然物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計		0	m ³

D-湖岸で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フロート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自然物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計		0	m ³

E-湖域で回収したごみ

人 工 物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³			計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	フロート、パイ m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³			計 m ³
自然物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³			計 m ³
人工物ごみ量 計		0	m ³				
自然物ごみ量 計		0	m ³	総計		0	m ³

調査票 (8)

4. 清掃活動の経費負担について

清掃活動に要する経費の負担について、以下の関係者毎に件数と金額を入力して下さい。

①総額	②	③	④	⑤	
	件 万円	件 万円	件 万円	件 万円	
万円	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	件 万円	件 万円	件 万円	件 万円	件 万円

② 行政(国、都道府県、市町村、出先機関、外郭団体等)

③ 学校関係(小・中・高校、PTA、職員組合等)

④ 水産関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、水産会社等)

⑤ 海運・港湾関係(海運会社、港湾荷役会社、港湾運送会社等)

⑥ 地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、商工会、商店会、NPO、観光組合、
海水浴場組合等)

⑦ 青少年団体(ボーイスカウト、スポーツ少年団等)

⑧ 企業関係(電力会社、製造業、金融、サービス業、職員組合等、なお水産会社は除く)

⑨ マリンレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体等)

⑩ その他(上記以外の各団体)

海浜等清掃活動の写真

HP等で公開可能な写真(清掃前、清掃中、清掃後、回収されたごみ)を送って下さい。

都道府県名プルダウン

市 町 村

No.

清掃前

(ごみが散乱集積している海岸等の写真)

都道府県名プルダウン

市 町 村

No.

清掃中

(清掃作業の状況等)

海浜等清掃活動・写真集

HP 等で公開可能な写真(清掃前、清掃中、清掃後、回収されたごみ)を送って下さい。

どの清掃活動の写真か判別できるように下段の No.の欄に(1)令和4年の清掃活動一覧の左端の番号(シリアルナンバー=連番)を入力して下さい。

都道府県名プルダウン

市 町 村 No.

清掃後
(きれいになった海岸等の写真)

都道府県名プルダウン

市 町 村 No.

回収されたごみ
(ごみの種類が判別出来るような写真)

3 調査結果

3-1 活動の規模

(1) 活動回数

清掃活動を実施した月別の実施回数と割合を図 2 及び図 3 に示す。

令和 4 年には、全国で延べ 16,935 回(コロナ禍の令和 2 年度では 10,982 回、コロナ過中の令和 3 年度では 11,588 回)の清掃活動が行われた。特に 5 月、6 月、7 月の実施回数が多く全体の 36.9%を占めた。また、5 月から 10 月までの半年間で全体の 64.7%を占めた。

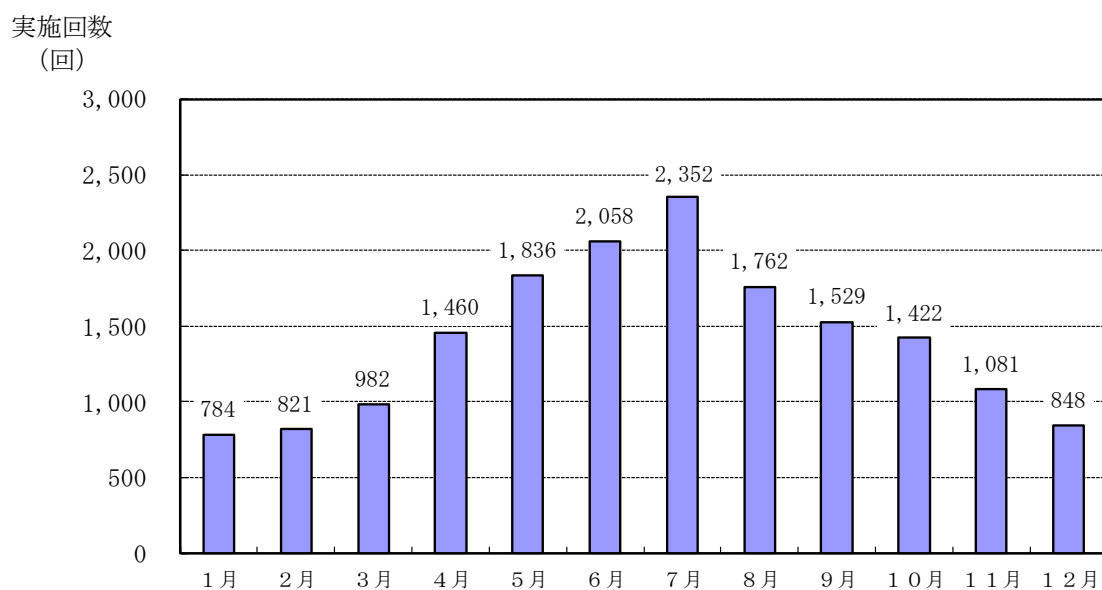


図 2 月別実施回数

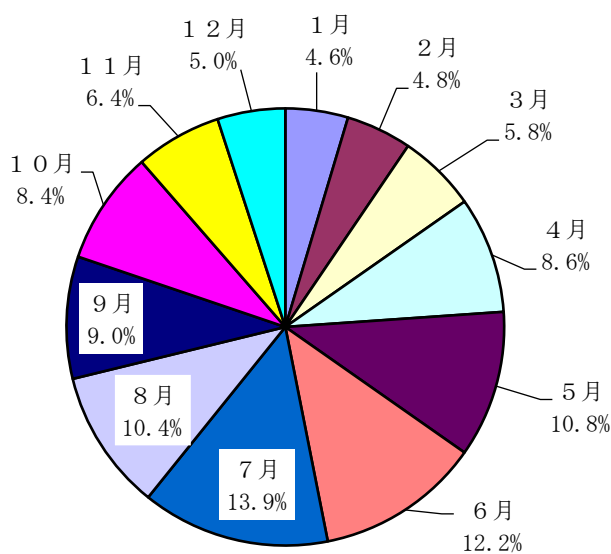


図 3 月別実施回数の割合

(2) 清掃を実施した場所別の清掃距離(面積を含む)と参加人数

清掃実施場所別の清掃距離(面積を含む)と清掃人数を表 2 に、清掃実施場所別の参加人数の割合を図 4 に、参加者 1 人あたりの清掃距離を図 5 に示す。

清掃活動の延べ参加人数は、延べ 61 万人(コロナ禍直前の令和元年は 92 万人、コロナ過中の令和 2 年度では 32 万人)であった。参加人数を活動場所別にみると、海岸(48 万人)と河岸(12 万人)での活動が多く、この 2 つをあわせると全参加人数の約 98%を占めた。

延べ清掃距離を比較すると、海岸が 11,319 km、河岸が 1,203km であるのに対して湖岸は 109km と短かった。また、海域の清掃面積は 268 km²、湖域の清掃面積は 32 km²であった。

延べ清掃距離を参加人数で除した 1 人あたりの清掃距離は、海岸で 30.3 m、河岸で 16.0 m、湖岸で 20.2 m であった。

表 2 清掃実施場所別の清掃規模と参加人数

	全体	海岸	海域	河岸	湖岸	湖域
清掃人数 (人)	606,926	476,772	3,712	116,983	8,828	631
清掃距離	延べ距離 (km)	12,631	11,319	—	1,203	109
	面積 (km ²)	300	—	268	—	32

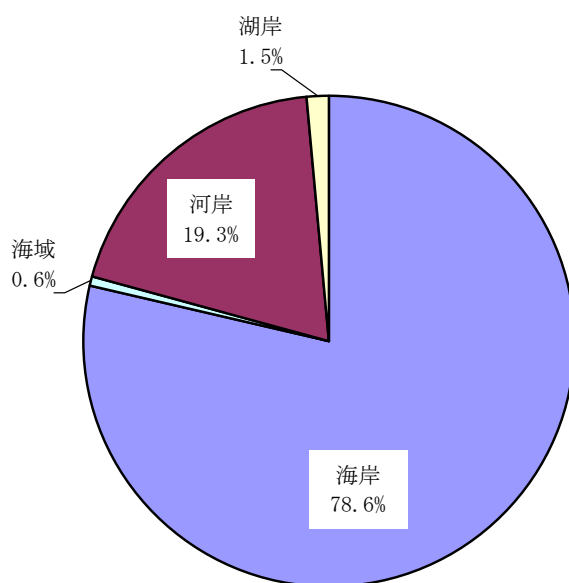
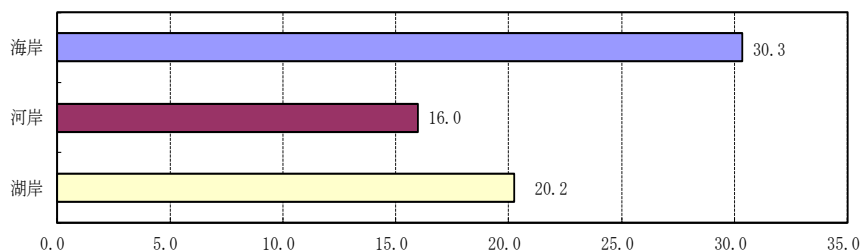


図 4 清掃人数の割合(清掃実施場所別)



注：延べ清掃距離及び参加人数の双方に回答があるデータから算出した。(m/人)

図 5 清掃活動参加者 1 人あたりの清掃距離

(3) 清掃活動参加者の構成

清掃活動参加者の構成割合を図 6 に示す。

清掃活動参加者の内訳は、成人男子が 63.5%、成人女子が 21.2%、大学生が 0.5%、中・高校生が 7.7%、小学生以下が 7.1%であった。

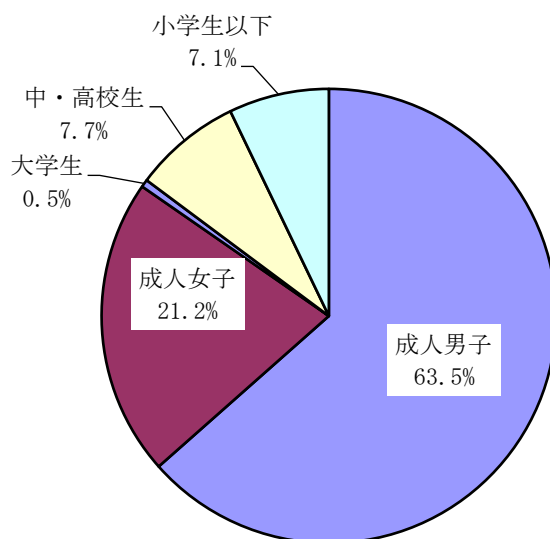


図 6 清掃活動参加者の構成割合

(4) 清掃活動1回当たりの参加者数(個人(1人)参加は分析から除いた)

清掃活動1回当たりの参加者数を団体別に見ると表3のとおりになる。これを見ると、清掃活動に参加する人の数は、個々の活動で大きな開きがある(1グループで参加者2人から10,000人まで多彩)。ただ、いずれの団体においても参加者数の中央値は10人から40人であり、清掃活動の中心が数十人規模のグループであるという点では同じである。なお、「行政」と「地域関係」が開催(主催)した清掃活動と、複数の団体が共同で開催(共催)した清掃活動においては、1度の開催(主催)で1,000人以上の参加者が集う事例が各々十数例あった。(参加者が5,000人以上の事例は全体で7例、10,000人以上の事例は全体で2例(最大は「行政」の13,053人)あった。)

表3 団体別参加者数

	最小 参加者数(人)	最大 参加者数(人)	中央値 (人)	平均値 (人)
行政	2	13,503	17	210
学校関係	3	328	40	72
水産関係	2	1,600	17	37
海運・港湾関係	8	175	10	65
地域関係	2	512	20	70
青少年関係	3	800	40	91
企業関係	2	4,000	28	61
マリンレジャー関係	2	200	22	29
その他	2	3,665	22	66
複数団体共催	2	10,000	37	180

表4 団体の区分

行政	国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等
学校関係	小・中・高校、PTA、職員組合等
水産関係	漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、水産会社等
海運・港湾関係	海運会社、港湾荷役会社、港湾運送会社等
地域関係	自治会、町内会、老人会、子供会、商工会、商店会、NPO、観光組合、海水浴場組合等
青少年団体	ボーイスカウト、スポーツ少年団等
企業関係	電力会社、製造業、金融、サービス業、職員組合等、なお水産会社は除く
マリンレジャー関係	釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体等
その他	上記以外の各団体

(5) 主催団体別の清掃活動参加者数(年間)

主催団体別の清掃活動参加者数(年間)を図7に示す。これを見ると、1位は「行政」で全体の5割(48%)、2位は「地域関係」で全体の2割(21%)を占めており、この2つの団体が開催(主催)した清掃活動だけで、清掃活動参加者(年間)全体の7割(69%)を集めていた。

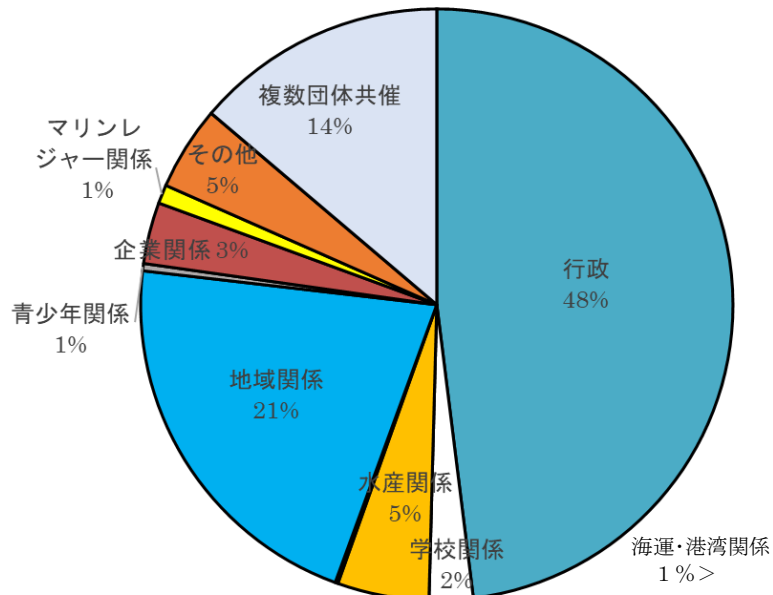


図7 主催団体別の清掃活動参加者数(年間)

(6) 清掃活動の主催回数(団体別)

団体別の清掃活動の主催回数(年間)を図8に示す。これを見ると、1位は「地域関係」で全体の4割(39%)、2位は「水産関係」で全体の18%、3位は「行政」で全体の17%を占めており、この3つの団体が清掃活動(年間)の7割以上(73%)を開催(主催)していた。

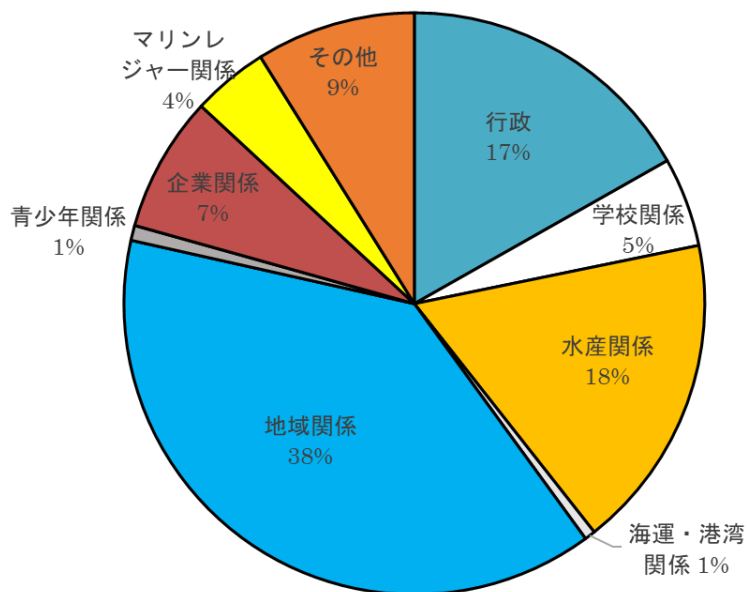


図8 清掃活動の主催回数(団体別)

(6) 清掃活動に参加した団体(3016 団体が回答)

清掃活動の主催又は他団体が主催した清掃活動への参加を問わず清掃活動に参加した団体の割合(数)は以下の図 9 のとおりである。清掃活動に参加した団体は、多い順に地域関係 (29%)、水産関係(17%)、企業関係(16%)、行政(12%)、学校関係(8%)の順であり、全 9 団体のうち上位 3 団体で全体の 62%を占めた。

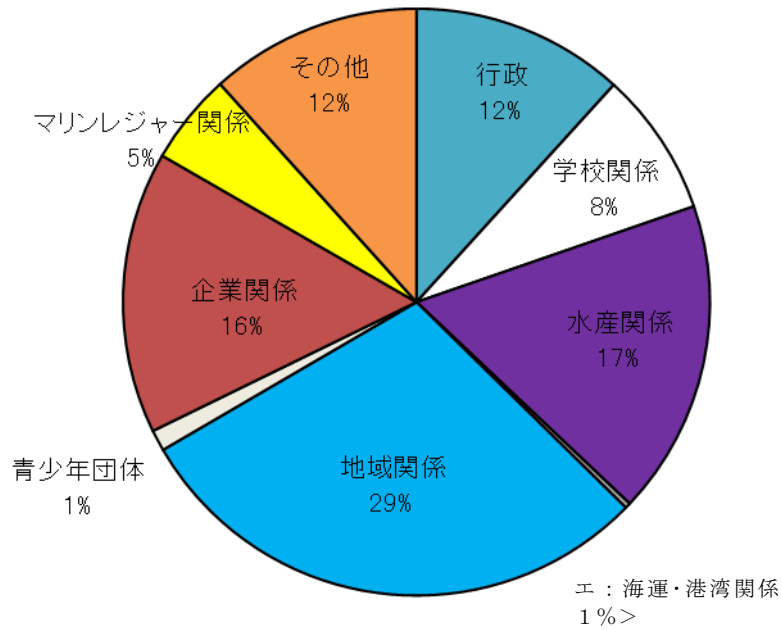


図 9 清掃活動に参加した団体の割合

(7) 清掃活動の主催及び清掃活動への参加

清掃活動団体による清掃活動の主催及び他団体が主催した清掃活動への参加状況を図 10 に示した。これによれば、清掃活動を主催した団体は全体の 17%、他団体が主催した清掃活動に参加した団体は 30%、その両方の団体は 53%であり、清掃活動の主催だけを行う団体は少なく、清掃活動を主催した団体の多くは他団体が主催した清掃活動にも積極的に参加している。次に清掃活動を主催した団体の割合を図 11 に、他団体が主催した清掃活動に参加した団体の割合を図 12 に示した。これを見ると、清掃活動の主催、他団体が主催した清掃活動への参加の両方で「地域関係(自治会・子供会・商工会など地域に根差した団体)」の割合が最も高く、「主催」で 31%、「参加」で 30%を占めた。次に「水産関係」が「主催」、「参加」とも 17%、「企業関係」は「主催」で 12%、「参加」で 17%を占めており、この 2 団体は「地域関係」に次いで清掃活動で大きな役割を果たしている。

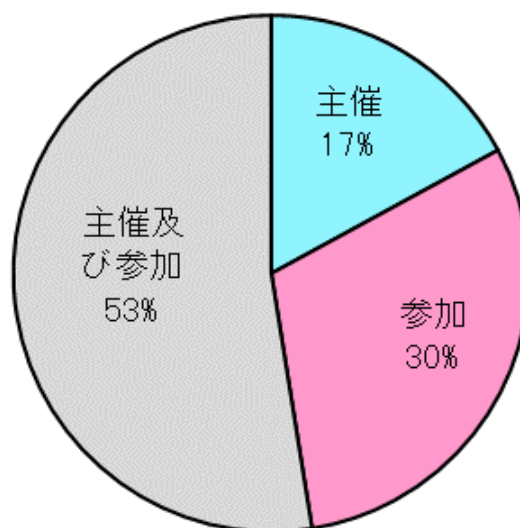


図 10 清掃活動を主催又は参加した団体の割合(3016 団体が回答)

注) 「主催」：清掃活動を主催した団体

「参加」：他団体が主催した清掃活動に参加した団体

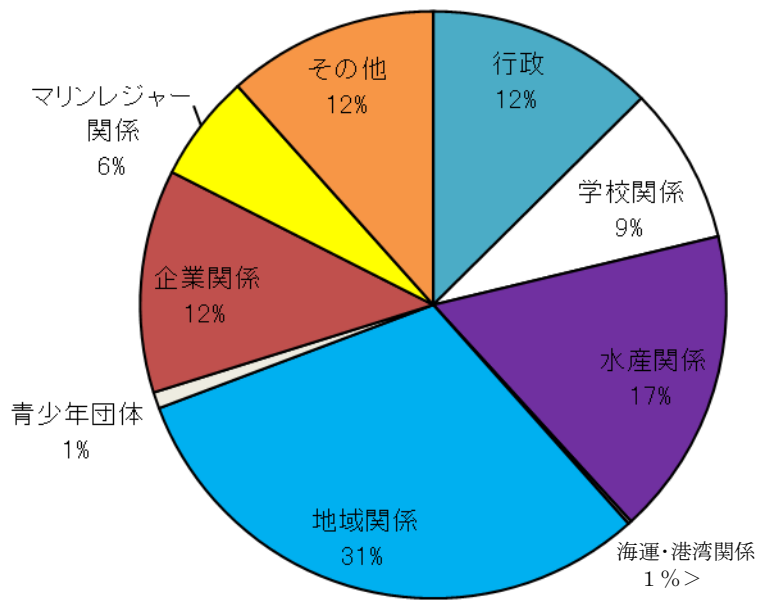


図 11 清掃活動を主催した団体の割合(2,099 団体が回答)

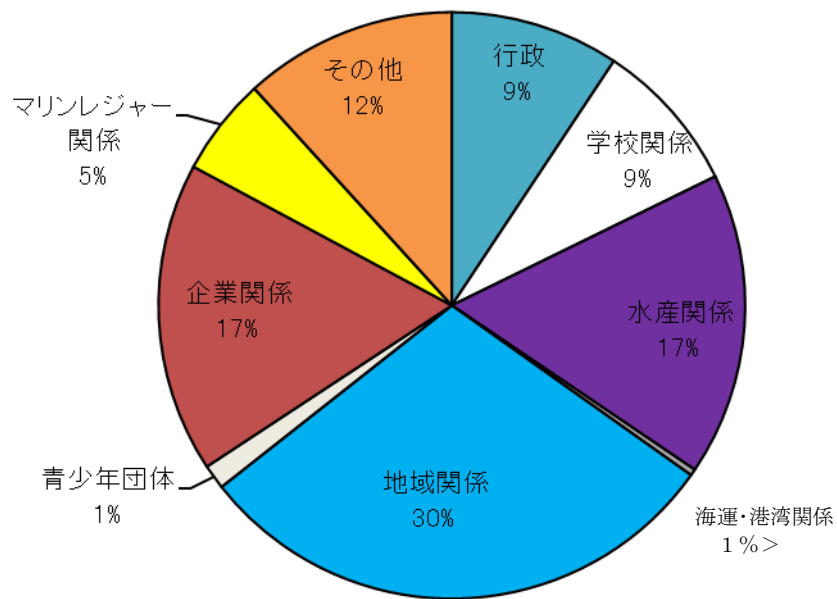


図 12 他団体が主催した清掃活動に参加した団体の割合(2,501 団体が回答)

(8) 清掃活動団体別の主催・参加の割合

団体別に、清掃活動の「主催」、清掃活動への「参加」、清掃活動の「主催及び参加」の割合を図13に示した。

なお、9種類の団体のうち海運・港湾関係は回答が少なかったため図は割愛した。

8種類の団体のうち「行政」は、他の団体に比べて「主催」の割合(34%)が飛びぬけて高く、主催者として清掃活動を強く牽引している様子が伺われた。

また、「青少年団体」及び「企業関係」は、他の団体に比べて「参加」の割合が46%、45%と高くなっており、主催者が誰であるかにこだわることなく、参加者として清掃活動に積極的に参加している様子が伺われた。

一方、「主催及び参加」については、いずれの団体も最も高い割合を示しており、特に「学校関係」及び「マリンレジャー関係」は全体の62%、71%と高い値を示していた。このことは、多くの団体が、時と場合に応じて、「主催」、「参加」の立場を柔軟に使い分けながら、清掃活動に積極的に取り組んでいる証左である。



図 13 団体別の主催及び参加の割合

注) 四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(9) 清掃活動団体の動員数(1947 団体が回答)

令和4年に海岸等水辺の清掃活動に参加した団体のうち動員数50人未満の団体は全体(1947団体)の61.6%、50～100人未満の団体は14.9%、100～500人未満の団体は19.3%、500人～1000人未満の団体は2.3%、1000人～10000人未満の団体は1.8%、そして10,000人以上の団体は0.1%であった。

一方、動員数50人未満の団体の参加者が全参加者に占める割合は5.6%、50～100人未満の団体は5.1%、100～500人未満の団体は19.3%、500人～1,000人未満の団体は7.3%、1,000人～10,000人未満の団体は18.7%、そして10,000人以上の団体は44.0%で、その参加者は166,944人であった。活動団体のうち参加者の最少は1人(個人で活動)であった。

表5 動員数別団体数・参加者

動員数	団体数(%)	参加者合計(%)	参加者平均(人)
10人未満	360 (18.5%)	1,514 (0.4%)	4.2
10～30人未満	566 (29.1%)	9,857 (2.6%)	17.4
30～50人未満	273 (14.0%)	10,030 (2.6%)	36.7
50～100人未満	291 (14.9%)	19,275 (5.1%)	66.2
100～300人未満	313 (16.1%)	50,491 (13.3%)	161.3
300～500人未満	62 (3.2%)	22,723 (6.0%)	366.5
500～1,000人未満	45 (2.3%)	27,881 (7.3%)	619.6
1,000～10,000人未満	36 (1.8%)	70,857 (18.7%)	1,968.3
10,000以上	1 (0.1%)	166,944 (44.0%)	166,944.0
合計	1,947(100.0%)	379,572(100.0%)	194.9

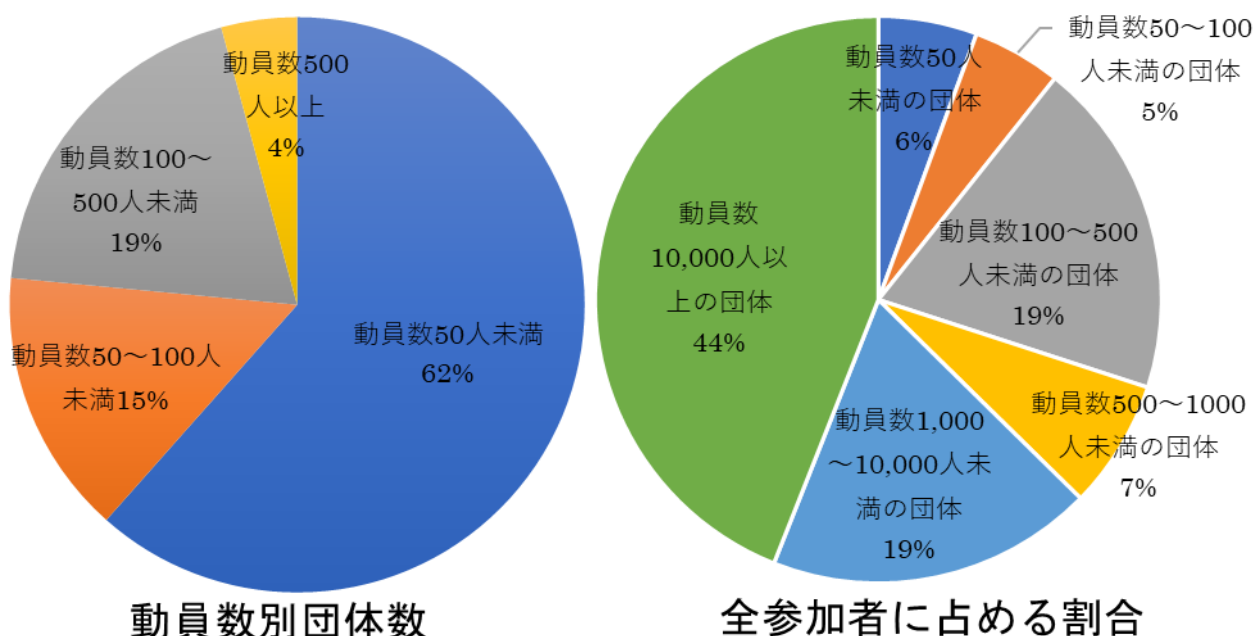


図14 動員数別団体数及び団体別参加者数の割合

注) 参加者 379,572人は本報告書3-1(2)清掃活動参加者数606,926人の内数です。

(10) 清掃活動で回収したごみの処分

清掃活動で回収したごみの処分の依頼先を図 15 に示した。

依頼先で最も多かったのは「行政」で、依頼先について「行政のみ」と「行政とそれ以外を併用」を合わせると、全回答数 4,009 件中 3,217 件(80.2%)で「行政」がごみ回収に関与していた。

その他の依頼先としては「民間」と「その他」があり、このうち「民間」については「民間のみ」と「民間とそれ以外を併用」を合わせると 730 件(18.2%)、「その他」については「その他のみ」と「その他とそれ以外を併用」を合わせて 146 件(3.6%)であった。

このことから、海浜等の清掃活動で回収したごみの処分は、行政(=地方自治体)が大きく貢献している実態が明らかになり、新たに海浜等の清掃活動を始める団体・組織は、事前に地元の市町村等と良く相談し、回収したごみの処分について十分な協力を得ておくことが重要であることがわかる。

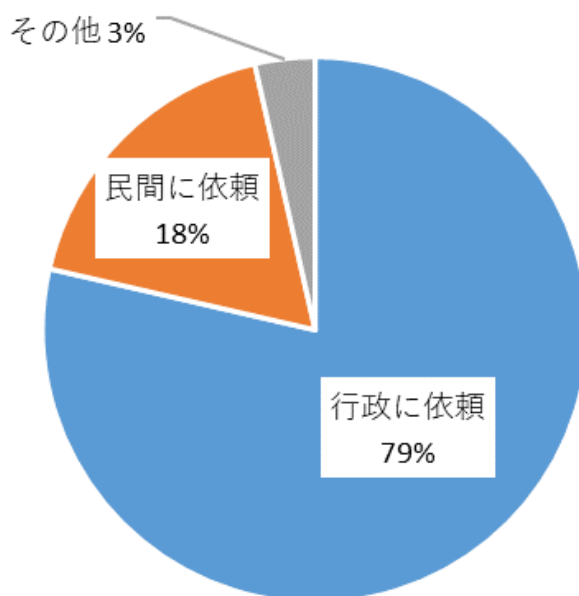


図 15 清掃活動で回収したごみの処分

(11) 活動資金(物品を含む)の確保

清掃活動の資金調達先(団体数)を表 6 及び図 16 に示した。

活動資金の調達先で最も多かったのは「行政」で 975 団体(66.6%)、次に「自己負担」が 730 団体(49.8%)、「参加者負担」 171 団体(11.6%)と続き、最も少なかったのは「民間団体」で 60 団体(4.1%)であった。

このうち、活動資金の調達先が「行政」のみであった団体は 556 団体(38.0%)に上った。一方、自己資金又は参加費のみで清掃活動を行った団体は、「自己資金のみ」の 365 団体と「参加費のみ」の 94 団体、その両方の 1 団体を合わせると 460 団体(31.4%)になり、資金の調達先として「行政のみ」と「自己資金+参加費のみ」の団体数(=割合)が 30%以上であった。

表 6 活動資金の調達先別団体数

行政	民間団体	自己資金	参加費	回答団体 (実数)
975 (556)	60 (7)	730 (365)	171 (94)	1,464

注)括弧内は活動資金の調達先が当該団体のみであった件数である。

また、自己資金(参加費を含む)に加えて他の団体・組織からの支援を受けて清掃活動を行った団体は 441(30.1%)あった。このうち「自己資金(「参加費」を含む)」に加えて「行政」から資金を調達した団体は 394 に上り、ここでも資金調達先として「行政」が大きな割合(9 割)を占めていることがわかった。

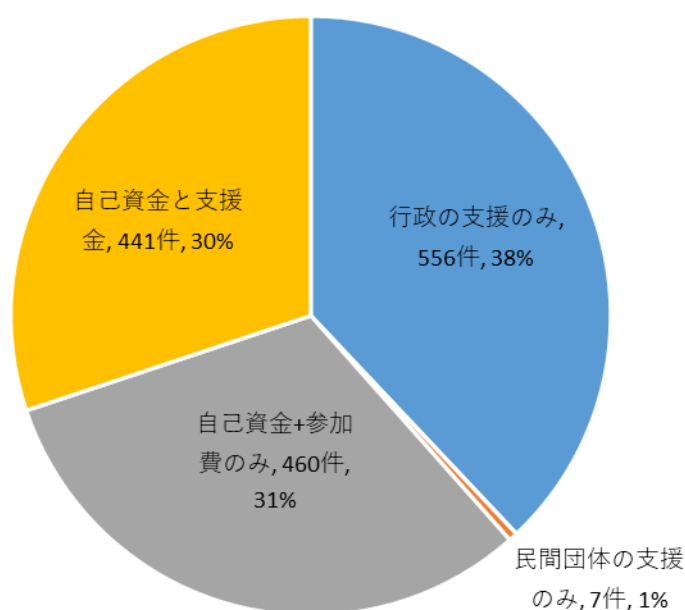


図 16 活動資金の調達先

(1 2) 清掃活動経費の支出額と支出件数

清掃活動経費の支出額と支出件数を表 7 に示した。このうち支出額については、「行政(国・自治体・外郭団体等)」が全体の 8 割近く(76.7%)を占め、次いで「地域関係(自治会・子供会・商工会など地域に根差した組織)」が 10.6%、「水産関係(漁協・漁連・水産会社等)」が 4.5%と、この 3 つで支出額の 9 割以上(91.8%)を占めた。

また、支出件数は総数で 9021 件、うち「行政」が 7035 件(77.9%)、「地域関係」が 1286 件(14.2%)、「水産関係」が 287 件(3.1%)でこの 3 つで支出件数の 95.2%を占めた。

次に 1 件あたりの支出額を図 17 に示した。これを見ると、「海運・港湾関係」が 33.6 万円でもっとも多く、次いで「水産関係」が 12.9 万円、「行政」が 9.5 万円であった。一方、少ない方では「マリレジャー関係」が 1.2 万円、「青少年団体」が 1.7 万円、「企業関係」が 2.0 万円、「地域関係」が 2.1 万円、「学校関係」が 2.3 万円であった。

これらのことから、支出金額(1件あたりを含む)、支出件数のいずれにおいても、海浜等清掃活動における「行政」の役割が非常に高いことが伺われる。

表 7 清掃活動経費の支出額と支出件数

(金額：万円)

行政	学校関係	水産関係	海運・港湾関係	地域関係	青少年団体	企業関係	マリレジャー関係	その他
66,953 (7,035)	122 (52)	3,727 (287)	741 (22)	2,770 (1,286)	14 (8)	171 (83)	44 (36)	1,585 (194)

注)括弧内は支援件数

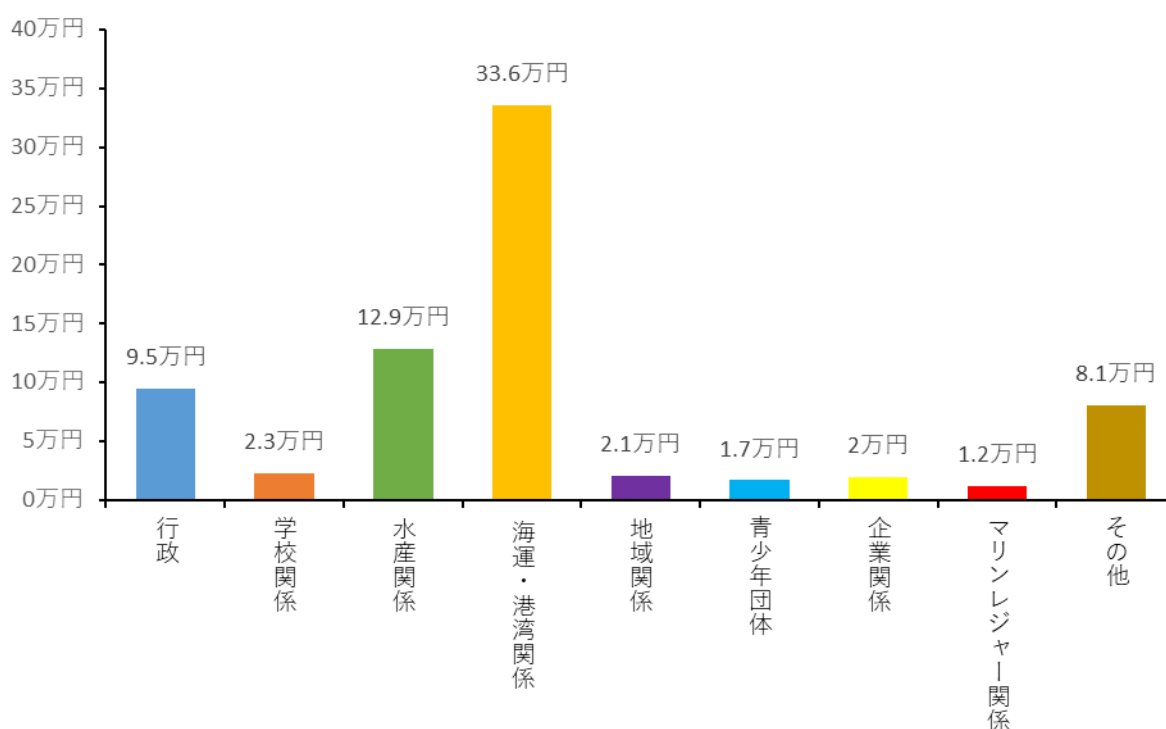


図 17 清掃活動経費の支出額(支出1件あたり)

(13) 清掃活動団体の活動年数(回答数 1,065 件)

清掃活動団体の活動年数を表 8 及び図 18 に示す。清掃活動を行う団体の活動年数をみると、5年未満が 22%、5年以上 10年未満が 9%、10年以上 20年未満が 26%、20年以上が 44%であった。このことから、長年に亘り継続して清掃活動に取り組んでいる団体が多い(10年以上 70%)一方、新たに清掃活動に参加する団体(新規加入)も着実に出てきていることが伺える。

表 8 団体の活動年数

5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
233件 (22%)	92件 (9%)	275件 (26%)	465件 (44%)

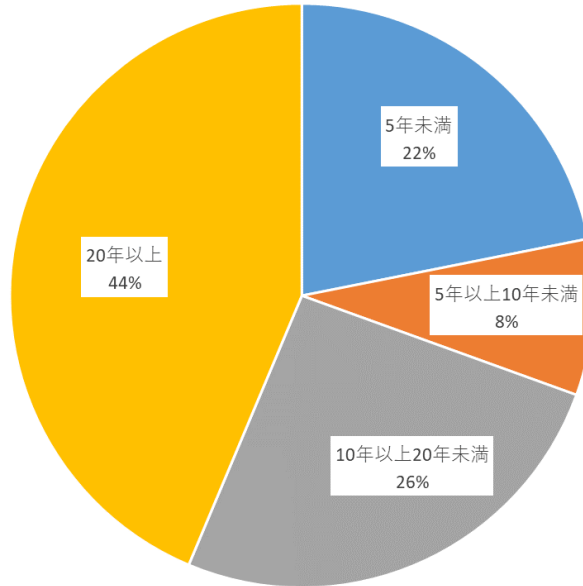


図 18 清掃活動を行った団体の活動年数

3-2 ごみの回収状況

(1) ごみの回収量

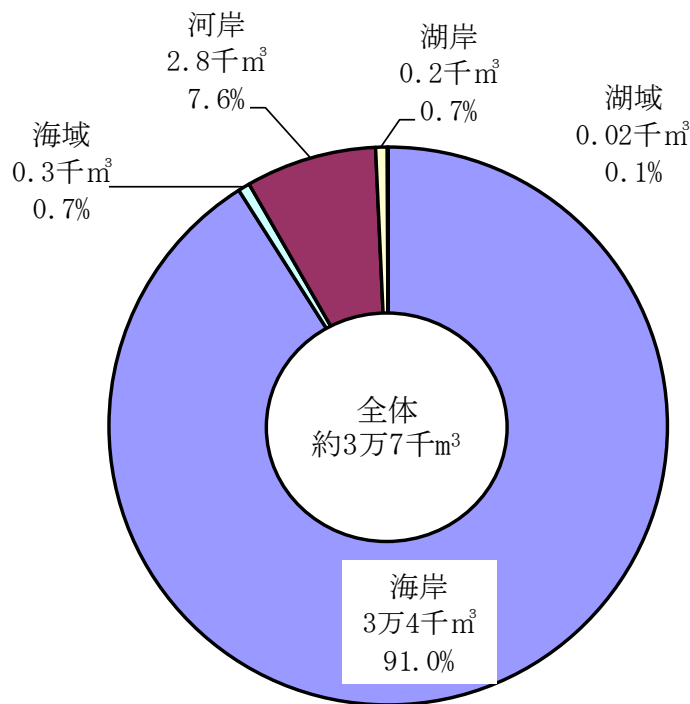
清掃場所別のごみ回収量とその割合を図 20 に、参加者 1 人あたり及び海岸(河岸・湖岸を含む)1km あたりのごみ回収量を図 21 と図 22 に示した。

ごみの回収量は、全体で 3 万 7 千 m^3 (7,400 トン)であった。なお、この回収量はごみの種類を把握しているものと、総量のみ把握しているものの合計値である。

清掃場所別では海岸が 3 万 4 千 m^3 で最も多く、次いで河岸が 2.8 千 m^3 となっており、この 2 つを合わせるとごみ回収量全体の 99%を占めた。

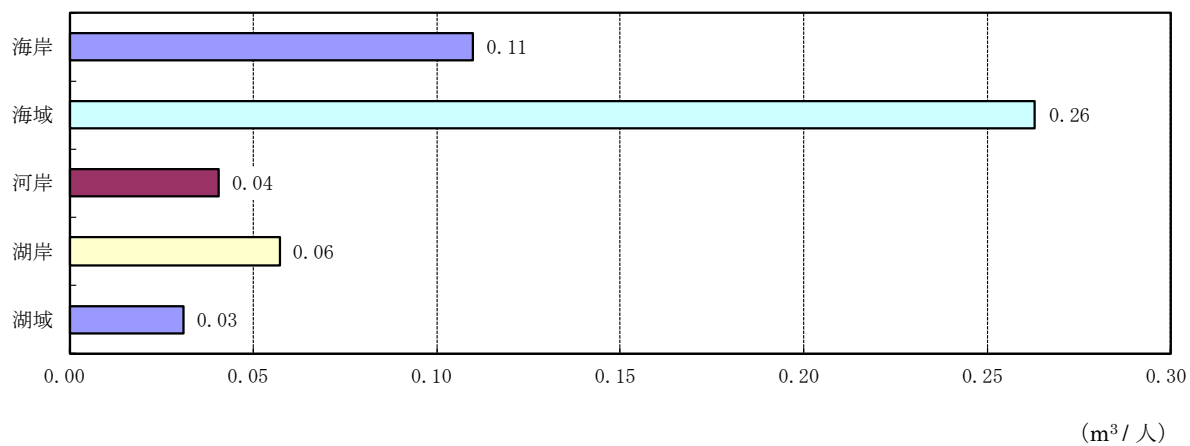
清掃活動参加者 1 人あたりのごみ回収量は、海域が最も多く 0.26 m^3 、次いで海岸が 0.11 m^3 、湖域が 0.06 m^3 、河岸が 0.04 m^3 で、最も少なかったのは湖岸の 0.03 m^3 であった。

一方、海岸(河岸・湖岸を含む)1km あたりのごみ回収量では、湖岸が約 4.00 m^3 で最も多かった。



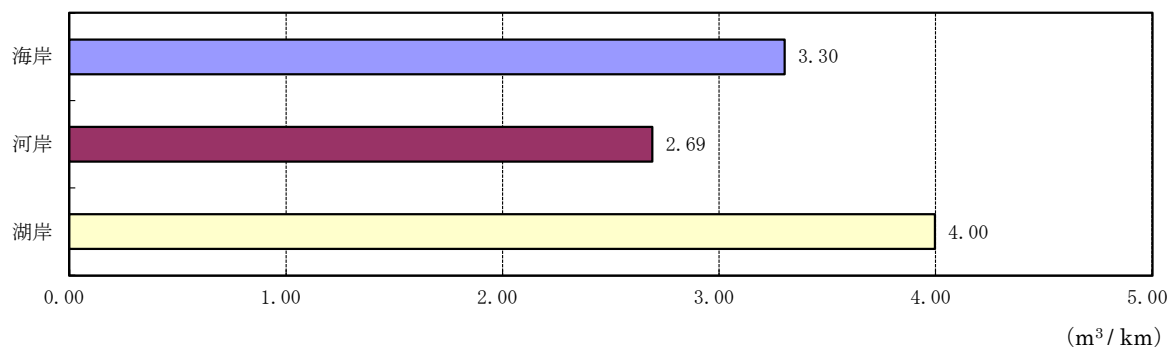
注：各値は四捨五入してあるため、合計はその内訳の合算値と一致しない場合がある。

図 20 ごみ回収量とその割合



注：清掃場所別の参加人数及びごみ回収量の双方に回答があるデータから作成した。

図 21 参加者 1 人あたりのごみ回収量



注：清掃距離及びごみ回収量の双方に回答があるデータから作成した。

図 22 海岸(河岸・湖岸を含む) 1 km あたりのごみ回収量

(2) ごみの種類

清掃を実施した場所別のごみ回収量及びその種類を表9及び図23.1～図28.2で示す。

人工物と自然物の割合(「種類を把握しているごみ」と「種類を把握していないごみ」の合計)は6:1であった。また、「種類を把握しているごみ」のうち人工物と自然物について、種類別の割合をみると、人工物では「人工物その他」が全体の9割、自然物では「流木」が全体の8割を占めていた。

清掃場所別に人工物と自然物の割合(「種類を把握しているごみ」と「種類を把握していないごみ」の合計)を見ると、海岸で6:1、海域で3:2、河岸で8:1、湖岸で10:0、湖域で8:1であった。

表9 種類別のごみ回収量

単位：m³

項目	種類	全体	海岸	海域	河岸	湖岸	湖域
種類を把握しているごみ	布・紙	98 (0.9%)	91 (0.9%)	1 (1.2%)	6 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	材木、木片等	340 (3.1%)	331 (3.4%)	2 (1.7%)	7 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	ペットボトル	303 (2.8%)	264 (2.7%)	6 (6.3%)	32 (3.8%)	0 (0.0%)	1 (8.0%)
	弁当箱、トレイ	182 (1.7%)	176 (1.8%)	1 (0.8%)	5 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	ロープ、網	218 (2.0%)	166 (1.7%)	48 (53.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (25.5%)
	フロート、ブイ	129 (1.2%)	113 (1.1%)	11 (12.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (43.1%)
	缶類	268 (2.5%)	243 (2.5%)	3 (3.5%)	22 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	ガラス	79 (0.7%)	78 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	人工物その他	9,210 (85.1%)	8,404 (85.2%)	18 (20.3%)	778 (91.4%)	8 (100.0%)	3 (23.3%)
	人工物計	10,826 (100.0%)	9,866 (100.0%)	89 (100.0%)	850 (100.0%)	8 (100.0%)	12 (100.0%)
	流木	2,293 (81.7%)	2,215 (84.5%)	49 (82.9%)	29 (22.7%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
	海草・水草	356 (12.7%)	335 (12.8%)	0 (0.0%)	20 (16.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	自然物その他	159 (5.6%)	71 (2.7%)	10 (17.1%)	78 (61.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	自然物計	2,807 (100.0%)	2,621 (100.0%)	59 (100.0%)	126 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
	小計	13,633 -	12,487 -	148 -	977 -	8 -	14 -
種類を把握していないごみ	人工物ごみ	12,778 (93.0%)	11,976 (93.0%)	22 (83.7%)	645 (92.6%)	132 (99.9%)	3 (76.3%)
	自然物ごみ	955 (7.0%)	898 (7.0%)	4 (16.3%)	52 (7.4%)	0 (0.1%)	1 (23.7%)
	小計	13,733 (100.0%)	12,874 (100.0%)	26 (100.0%)	697 (100.0%)	132 (100.0%)	4 (100.0%)
人工物ごみと自然物ごみ	人工物ごみの合計	23,604 (86.3%)	21,843 (86.1%)	111 (63.9%)	1,496 (89.4%)	140 (99.9%)	15 (88.4%)
	自然物ごみの合計	3,762 (13.7%)	3,519 (13.9%)	63 (36.1%)	178 (10.6%)	0 (0.1%)	2 (11.6%)
	小計	27,366 (100.0%)	25,362 (100.0%)	174 (100.0%)	1,673 (100.0%)	140 (100.0%)	17 (100.0%)
総量のみ把握	9,768 -	8,437 -	79 -	1,140 -	109 -	2 -	
合計	37,134 -	33,799 -	253 -	2,814 -	249 -	19 -	

注：各欄の値は四捨五入してあるため、人工物計・自然物計・合計の値と個々の数値の合算値は一致しない場合がある。

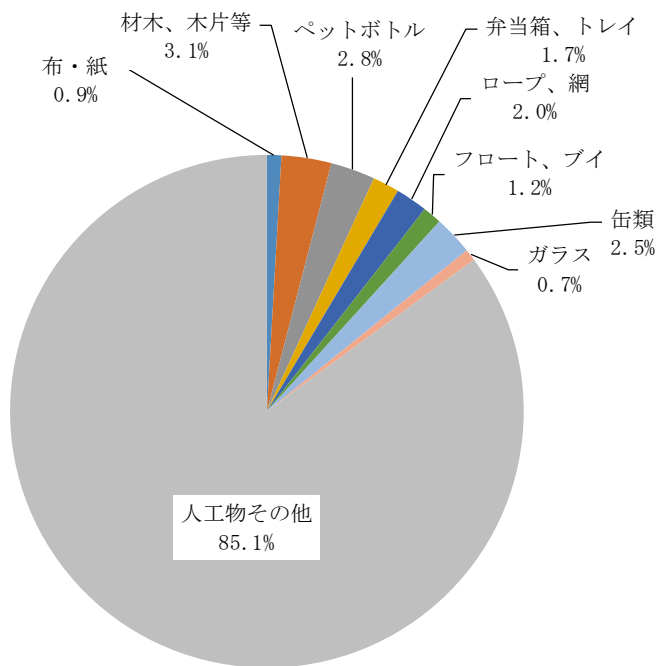


図 23.1 人工ごみの種類別割合(全体)

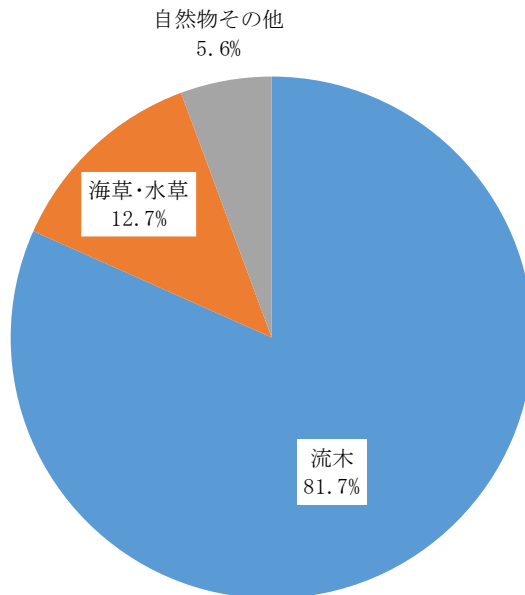


図 23.2 自然ごみの種類別割合(全体)

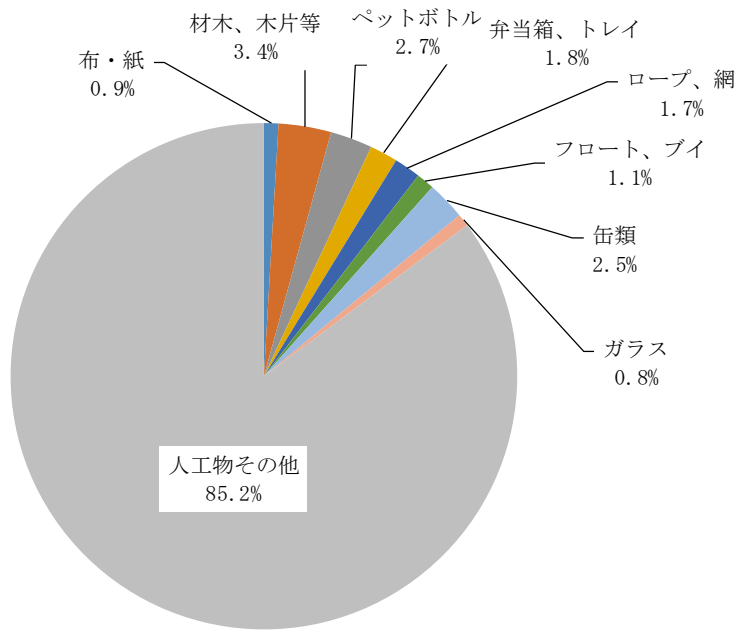


図 24.1 人工ごみの種類別割合(海岸)

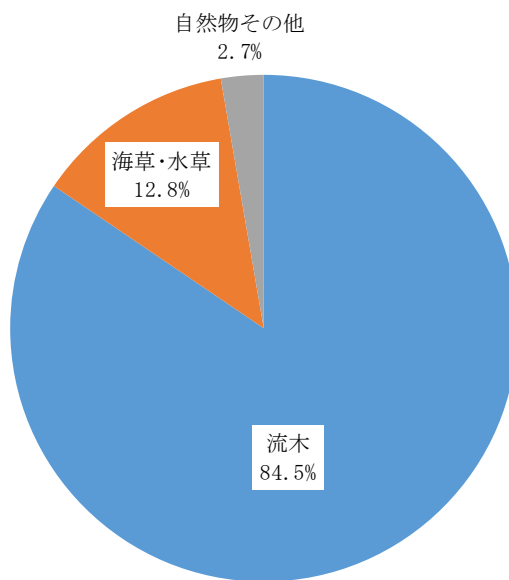


図 24.2 自然ごみの種類別割合(海岸)

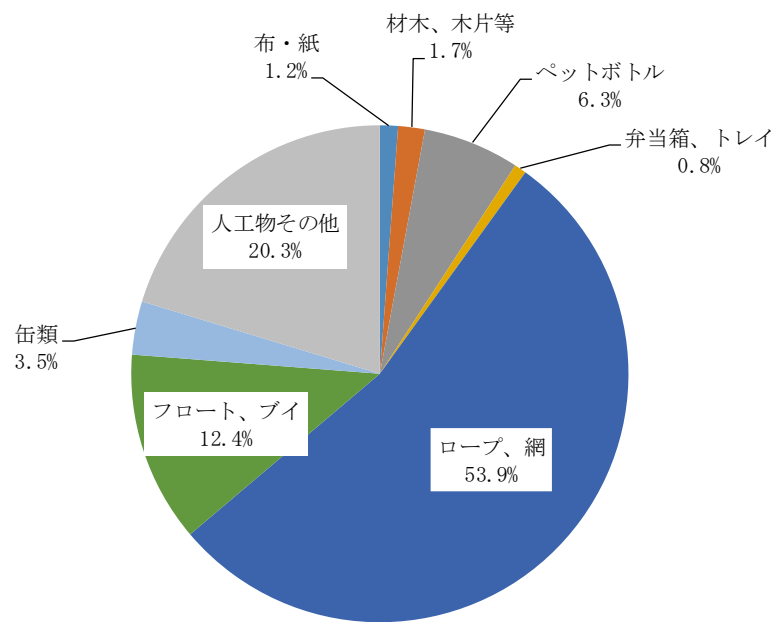


図 25.1 人工ごみの種類別割合(海域)

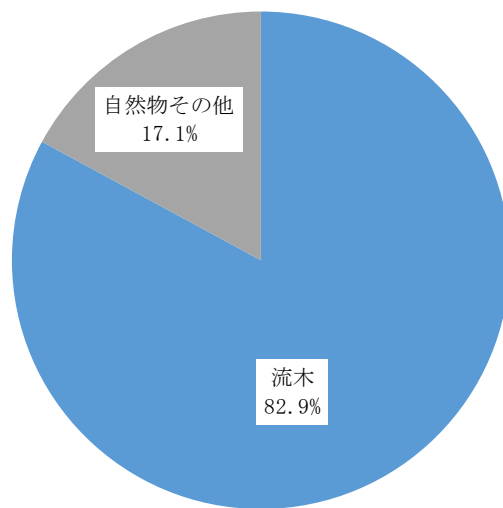


図 25.2 自然ごみの種類別割合(海域)

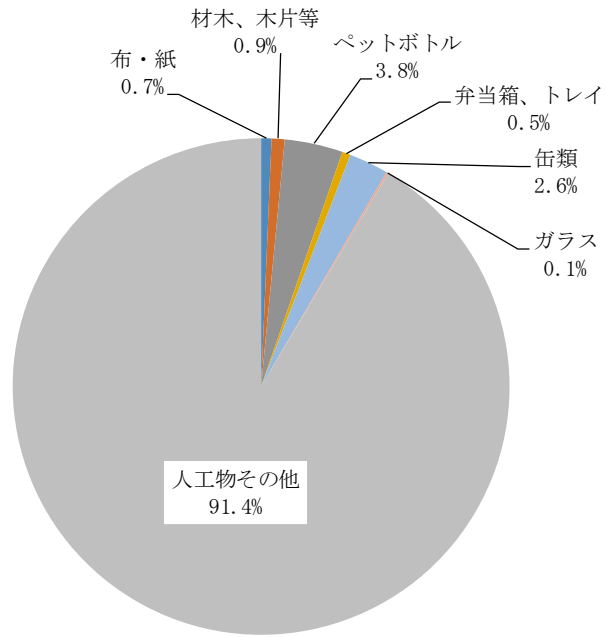


図 26.1 人工ごみの種類別割合(河岸)

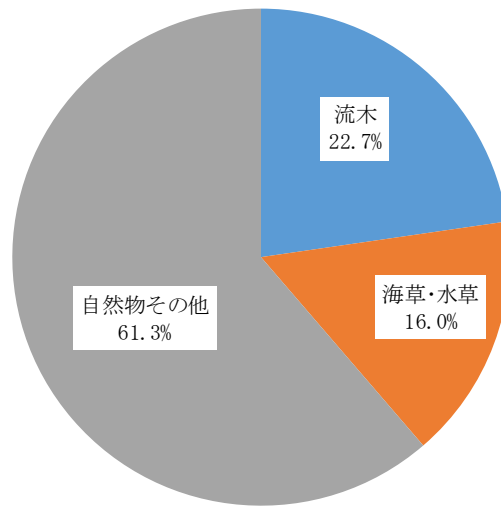


図 26.2 自然ごみの種類別割合(河岸)

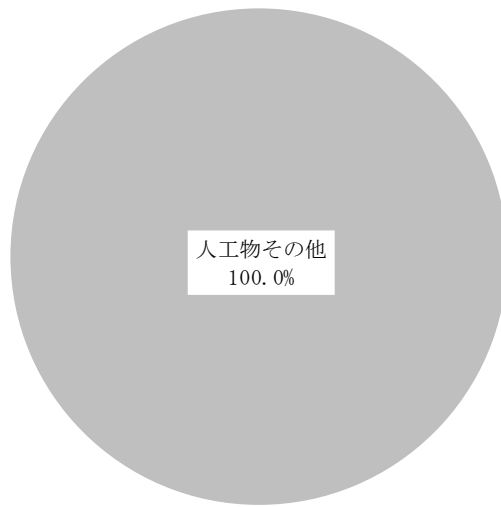


図 27 人工ごみの種類別割合(湖岸)

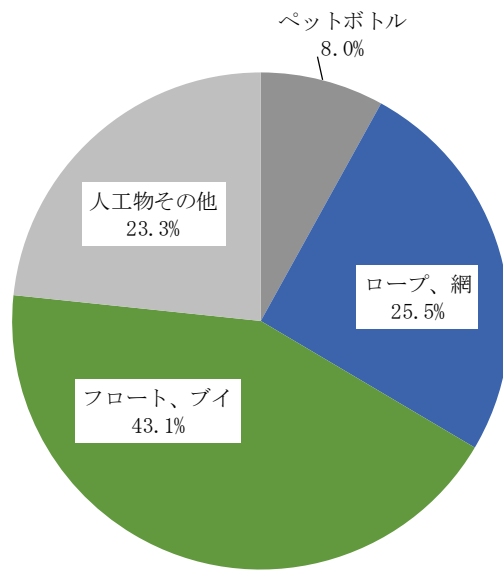


図 28.1 人工ごみの種類別割合(湖域)

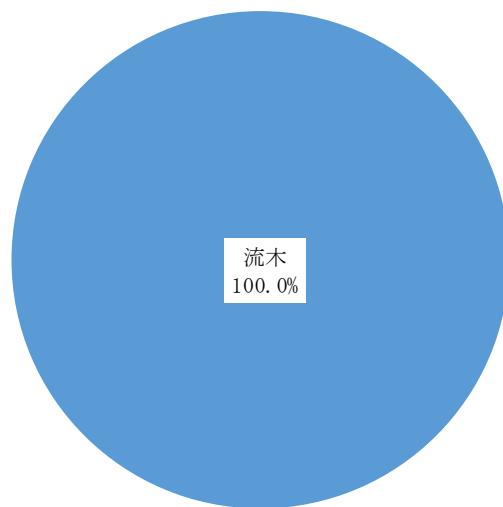
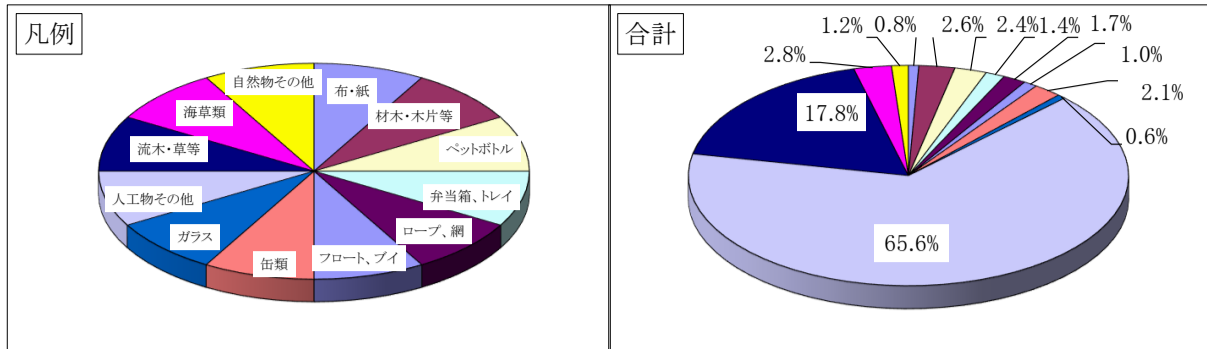


図 28.2 自然ごみの種類別割合(湖域)

全国ごみマップ

ごみの種類別の割合について、都道府県毎に整理したマップを図 29 に、同じく海岸のごみマップを図 30 に、海域のごみマップを図 31 に、河岸のごみマップを図 32 に、湖岸のごみマップを図 33 に、湖域のごみマップを図 34 に示した。



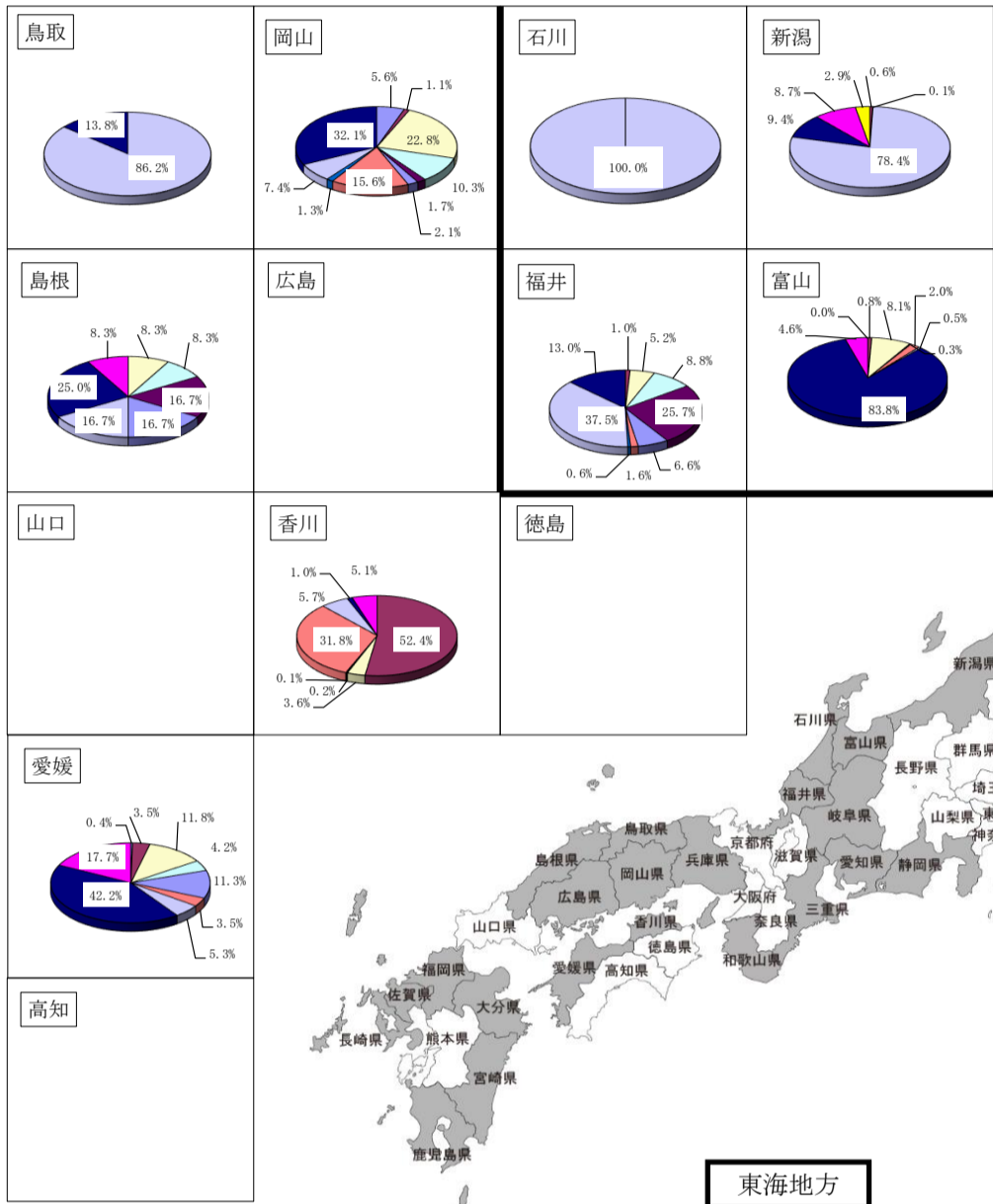
清掃活動の規模

清掃距離	12,631 km
清掃面積	300 km ²
清掃人数	606,926 人
種類を把握しているごみ量	12,854 m ³
種類を把握していないごみ量	23,501 m ³
ごみ回収量合計	36,354 m ³

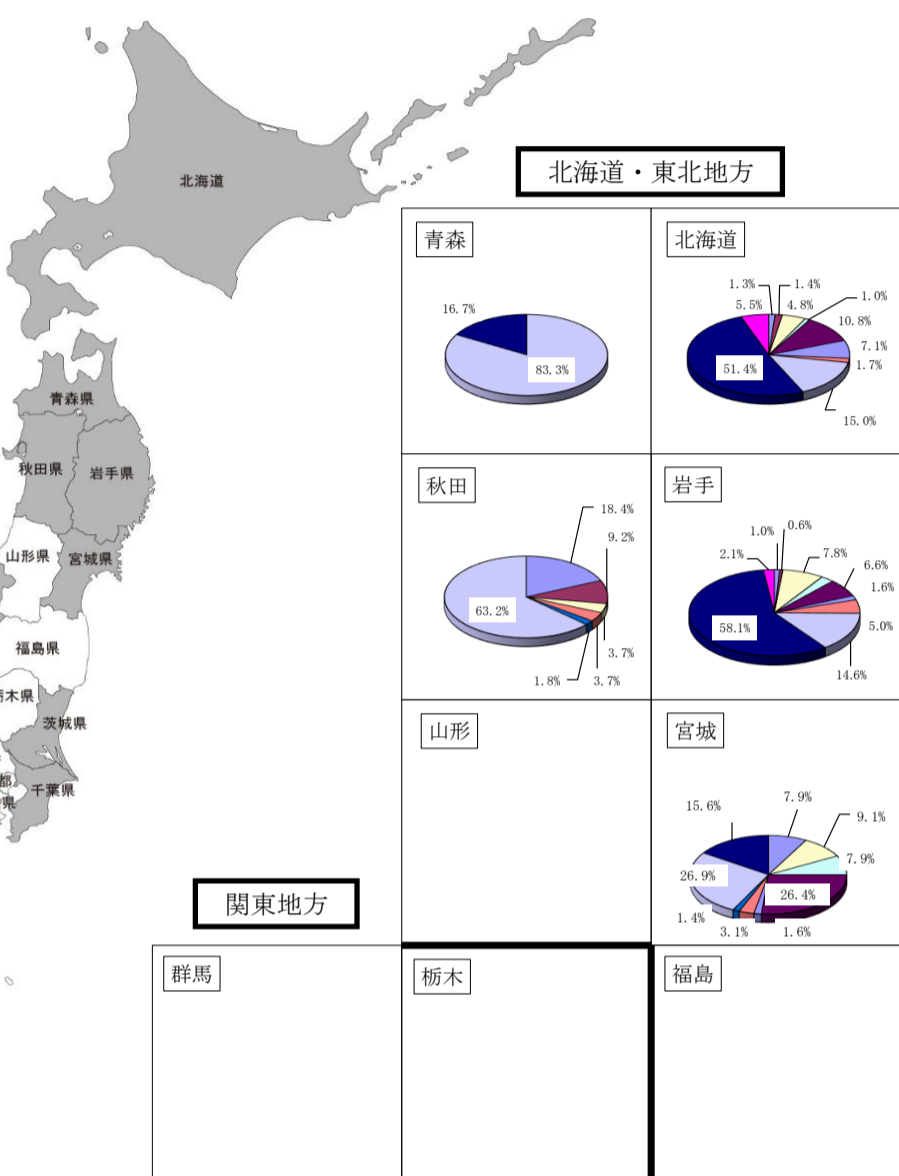
□ : 回答無し
 ■ : 回答有り

中国・四国地方

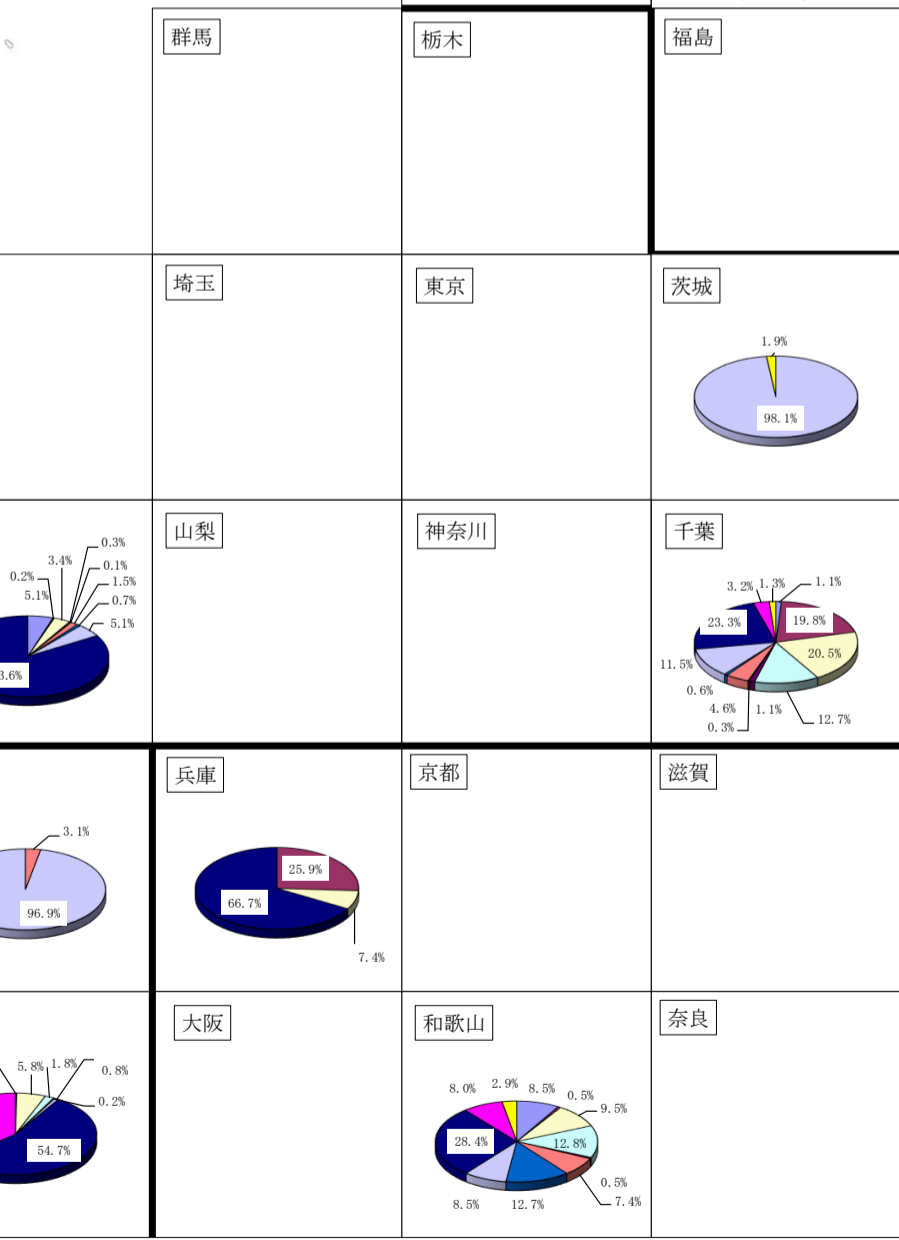
北陸地方



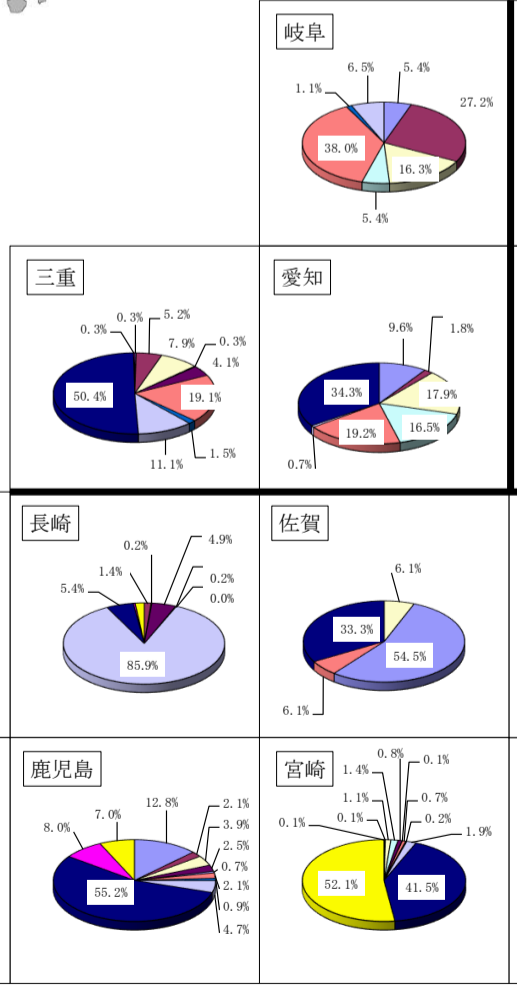
北海道・東北地方



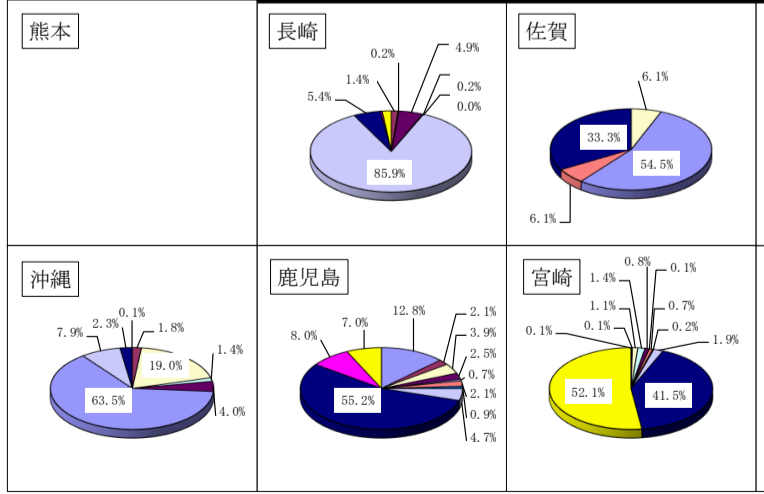
関東地方



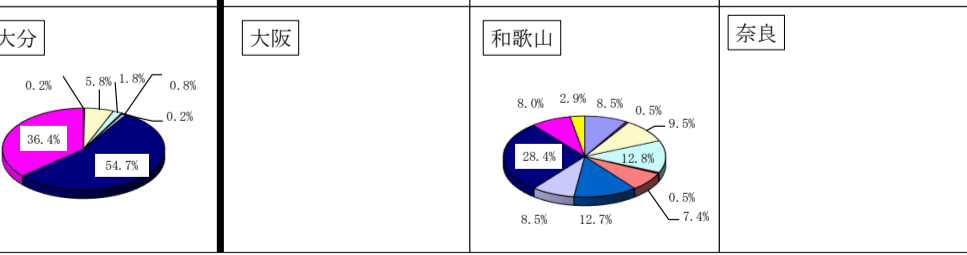
東海地方



九州地方

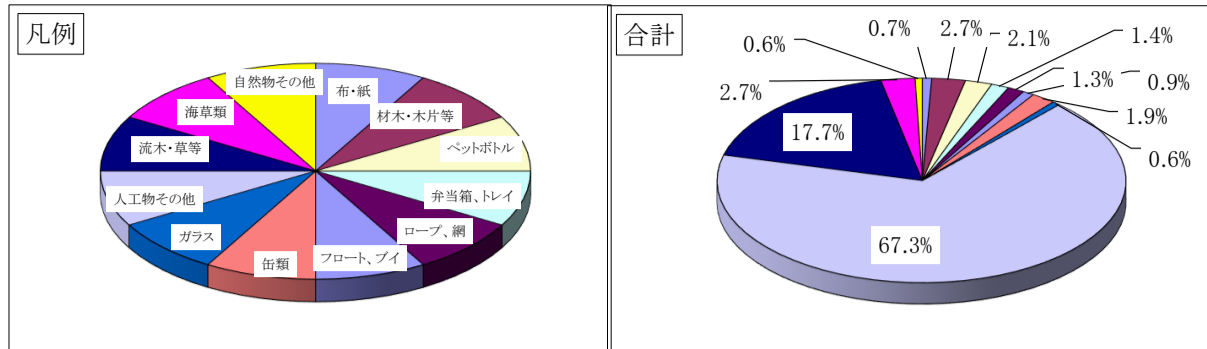


近畿地方



注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。
 グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 29 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況(全地域)



清掃活動の規模

清掃距離 11,319 km

清掃人数 476,772 人

種類を把握しているごみ量 12,487 m³

種類を把握していないごみ量 21,312 m³

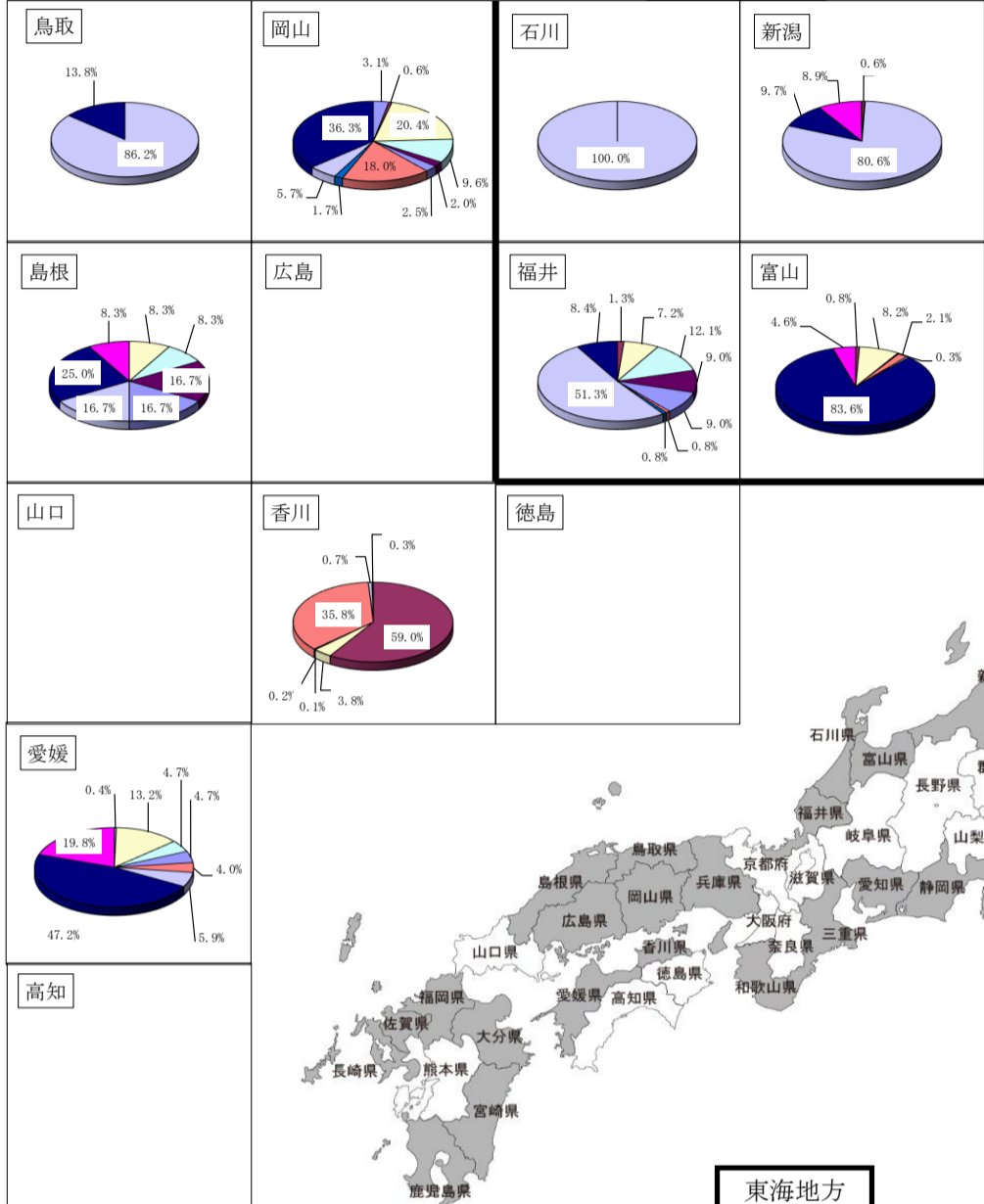
ごみ回収量合計 33,799 m³

□ : 回答無し

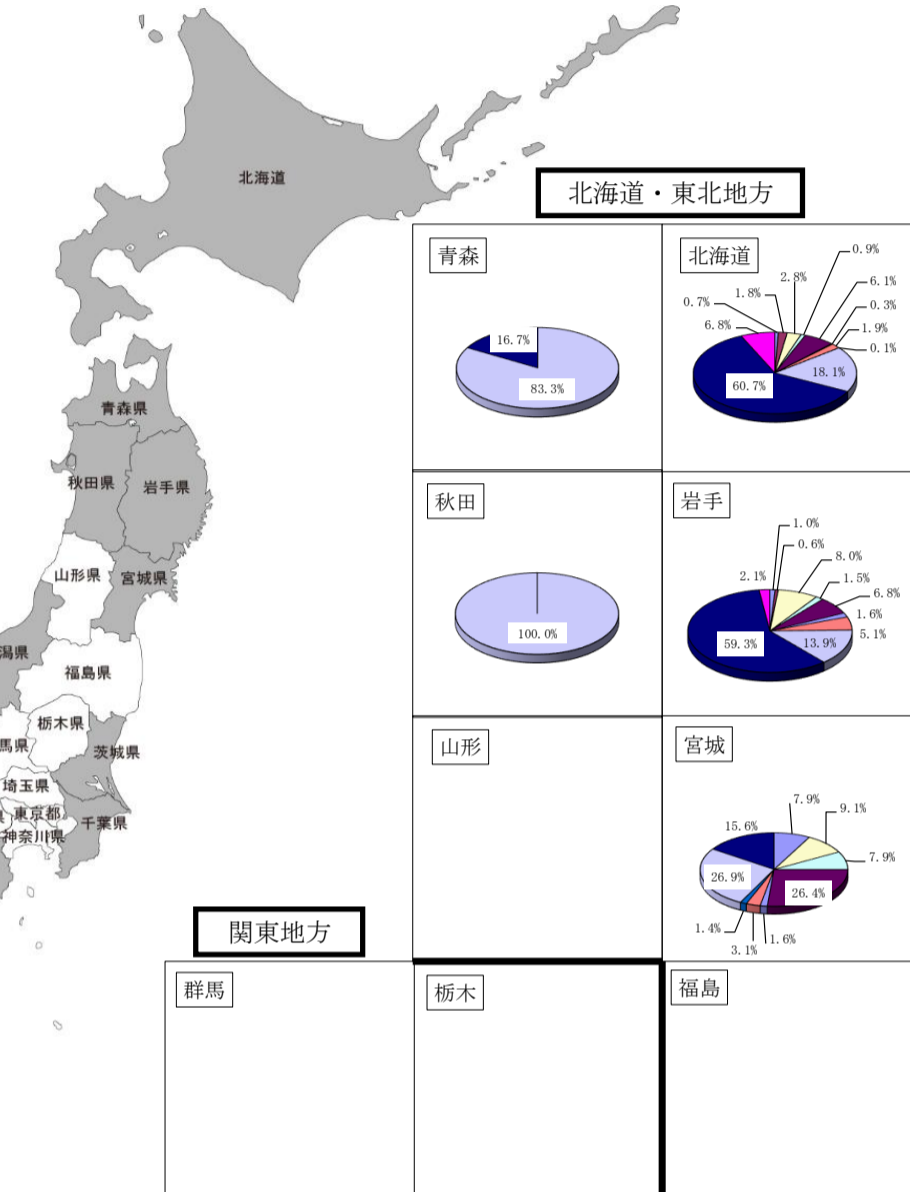
■ : 回答有り

中国・四国地方

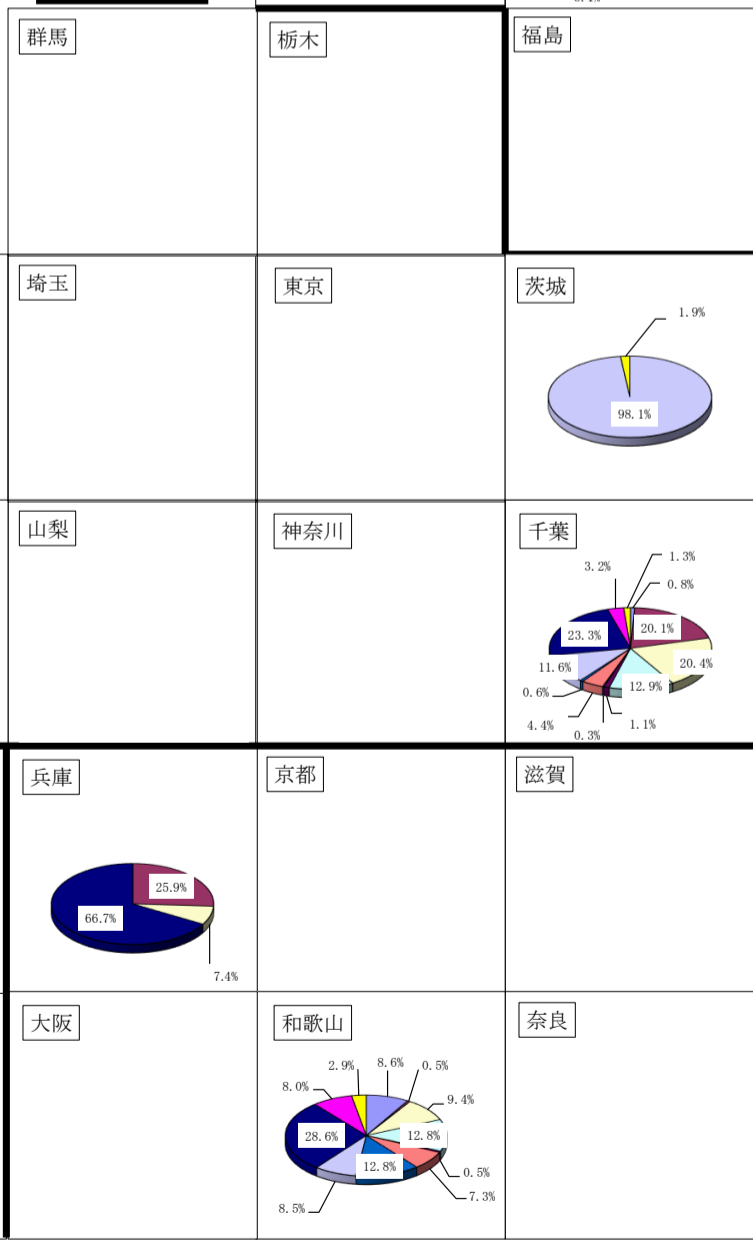
北陸地方



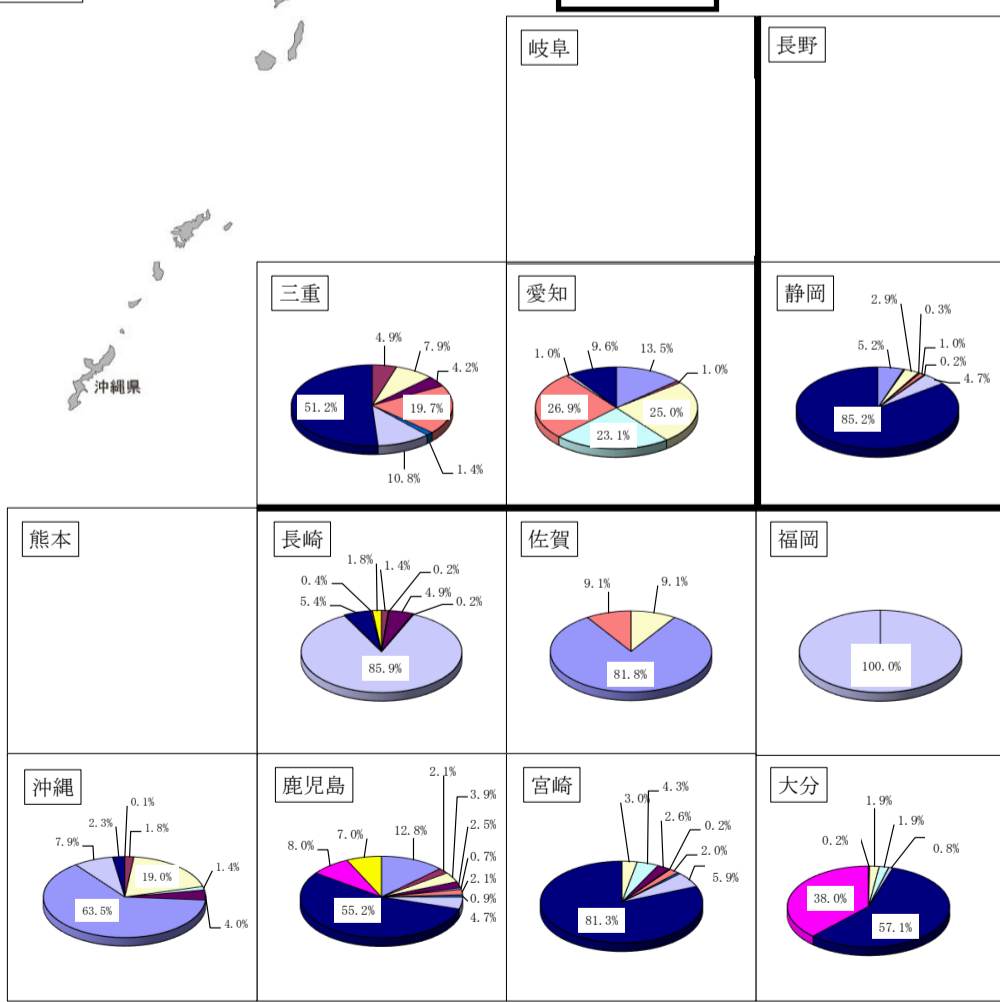
北海道・東北地方



関東地方



東海地方

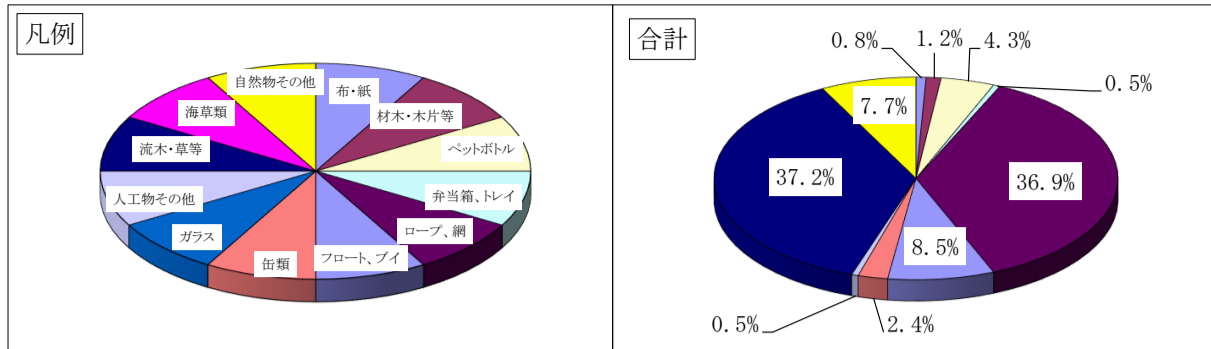


九州地方

近畿地方

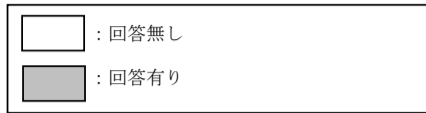
注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。
 グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 30 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況 (海岸)



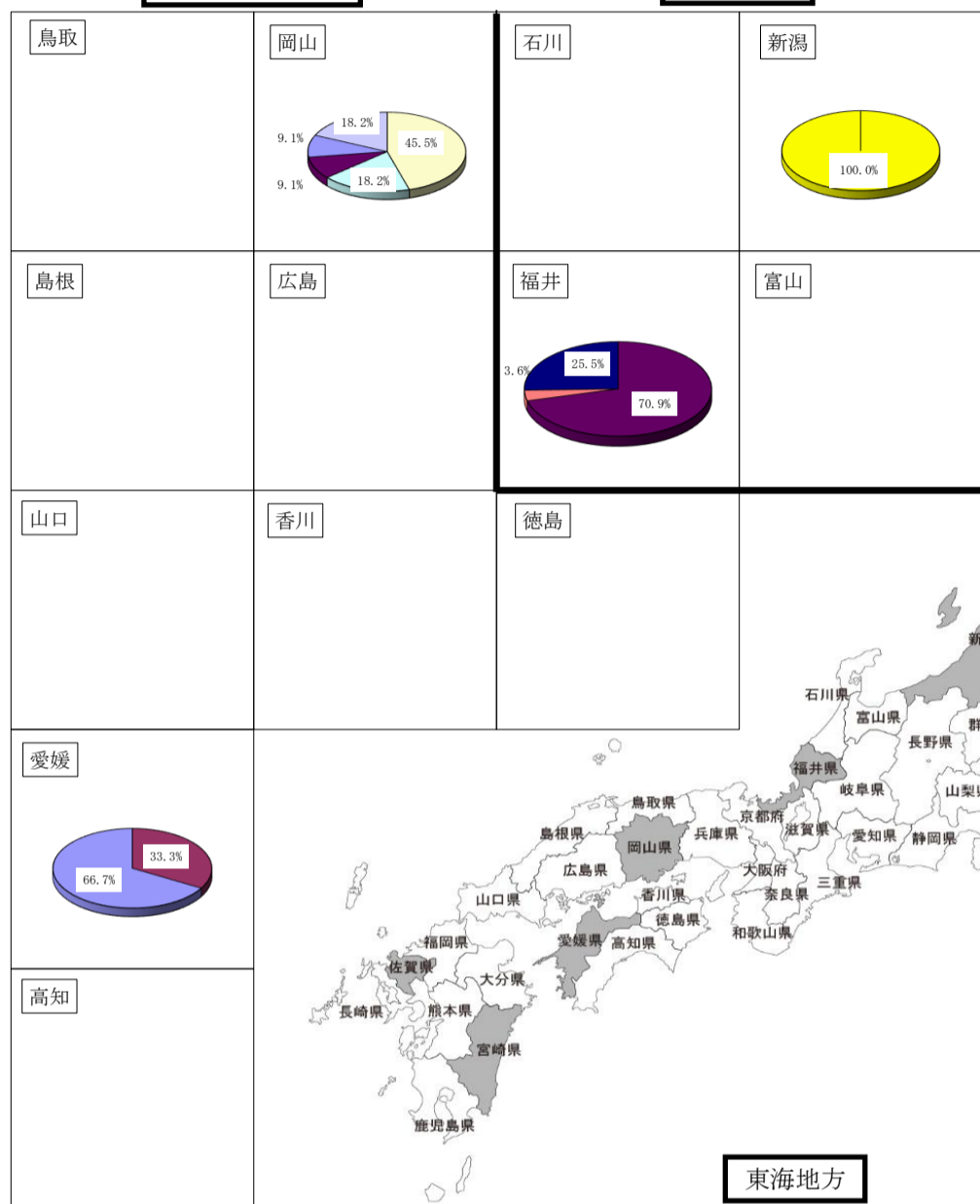
清掃活動の規模

清掃面積 268 km²
 清掃人数 3,712 人
 種類を把握しているごみ量 130 m³
 種類を把握していないごみ量 105 m³
 ごみ回収量合計 236 m³

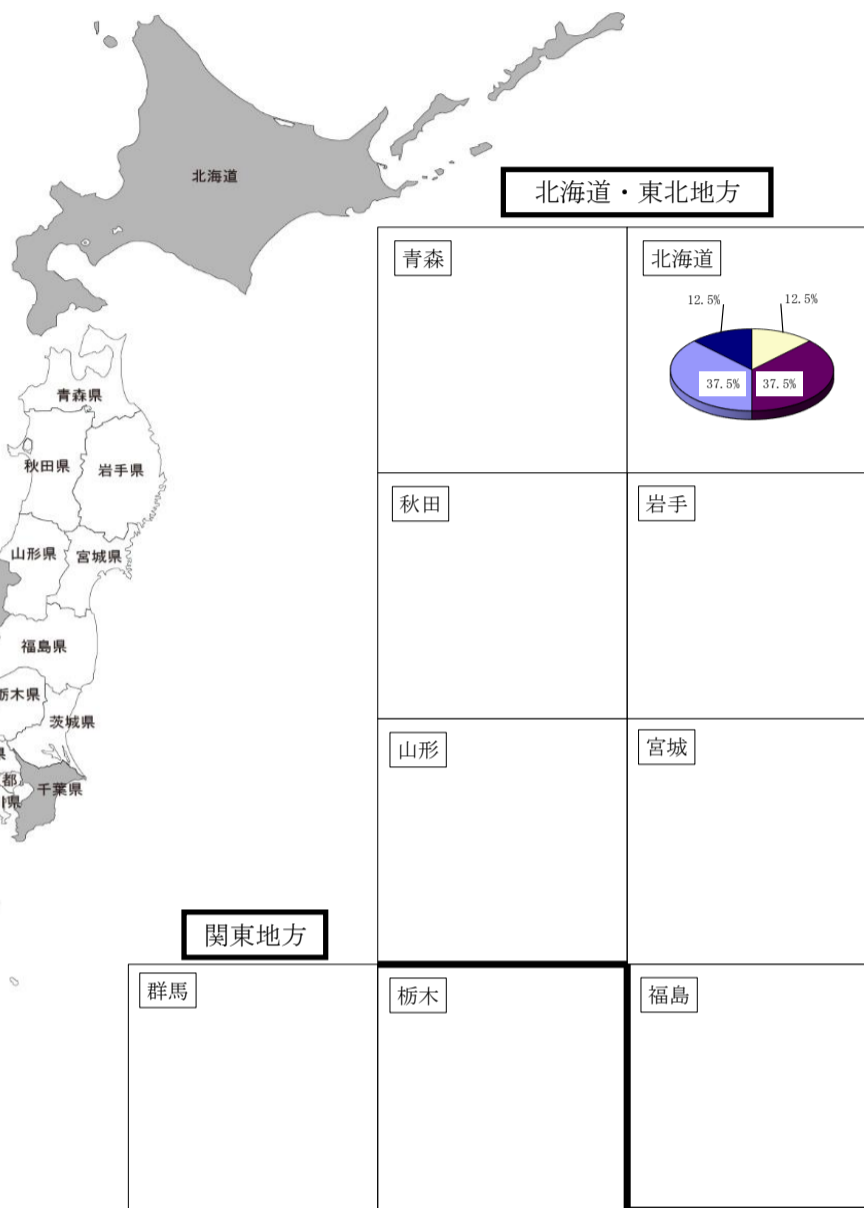


中国・四国地方

北陸地方

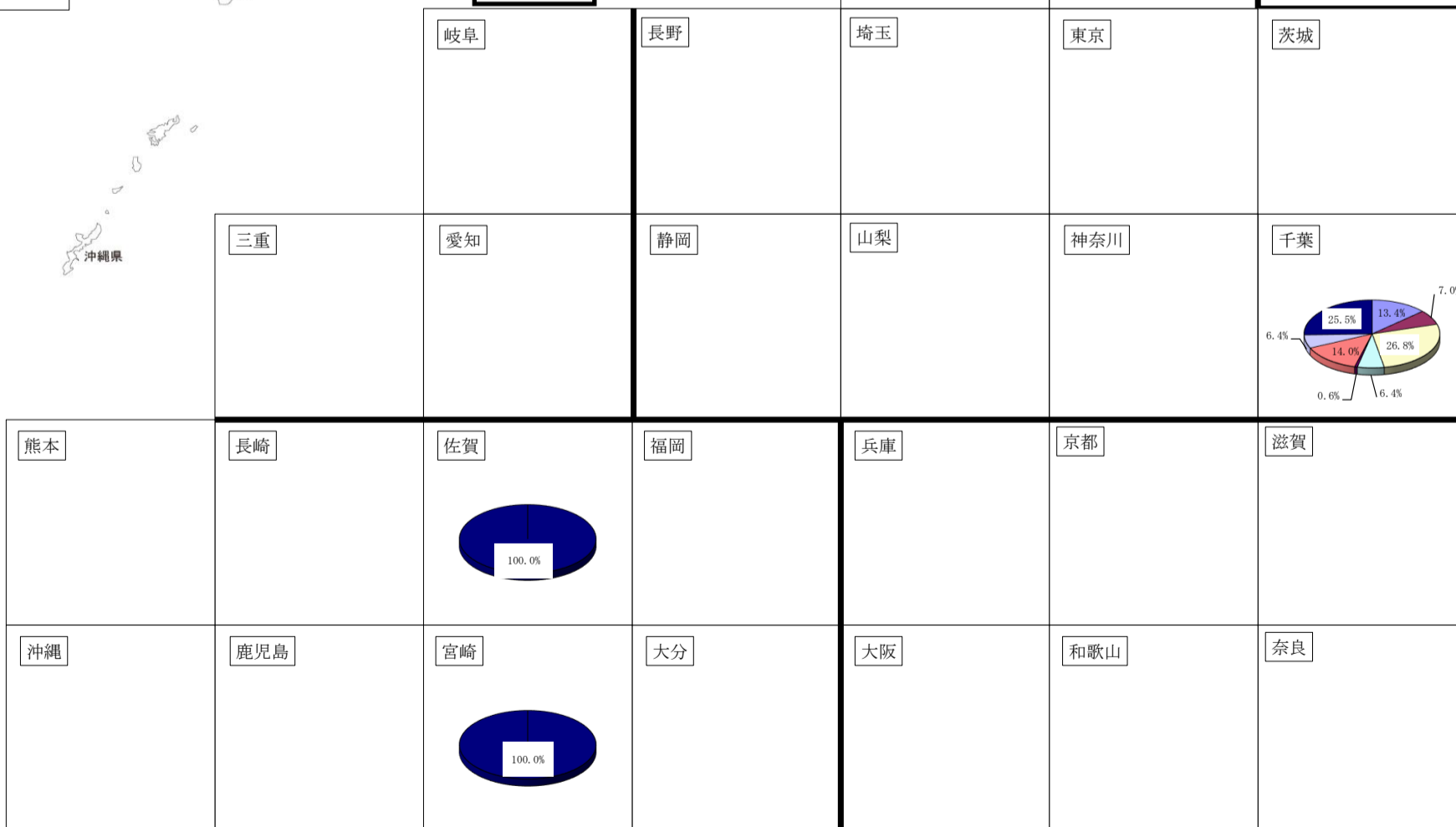


北海道・東北地方



関東地方

東海地方

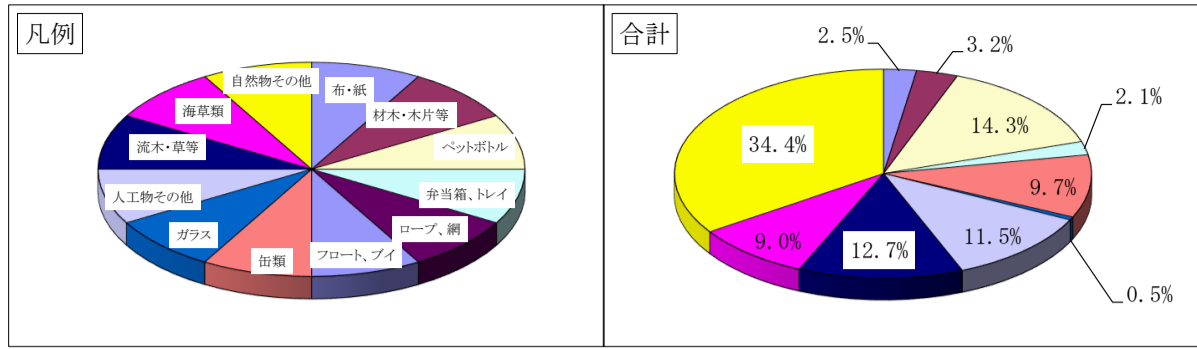


九州地方

近畿地方

注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。
 グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 31 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況 (海域)



清掃活動の規模
清掃距離 1,203 km

清掃人数 116,983 人

種類を把握しているごみ量 225 m³

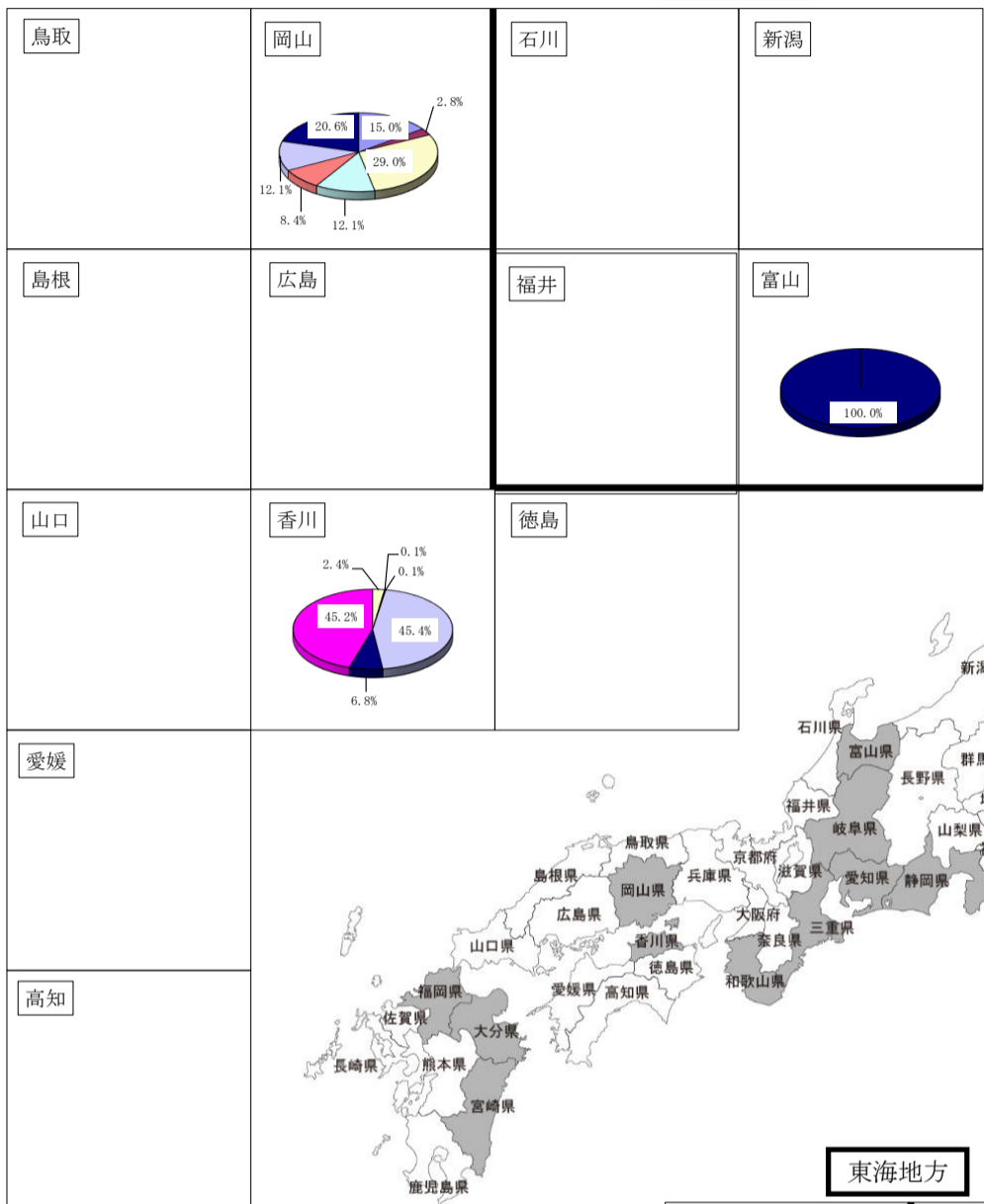
種類を把握していないごみ量 1,837 m³

ごみ回収量合計 2,062 m³

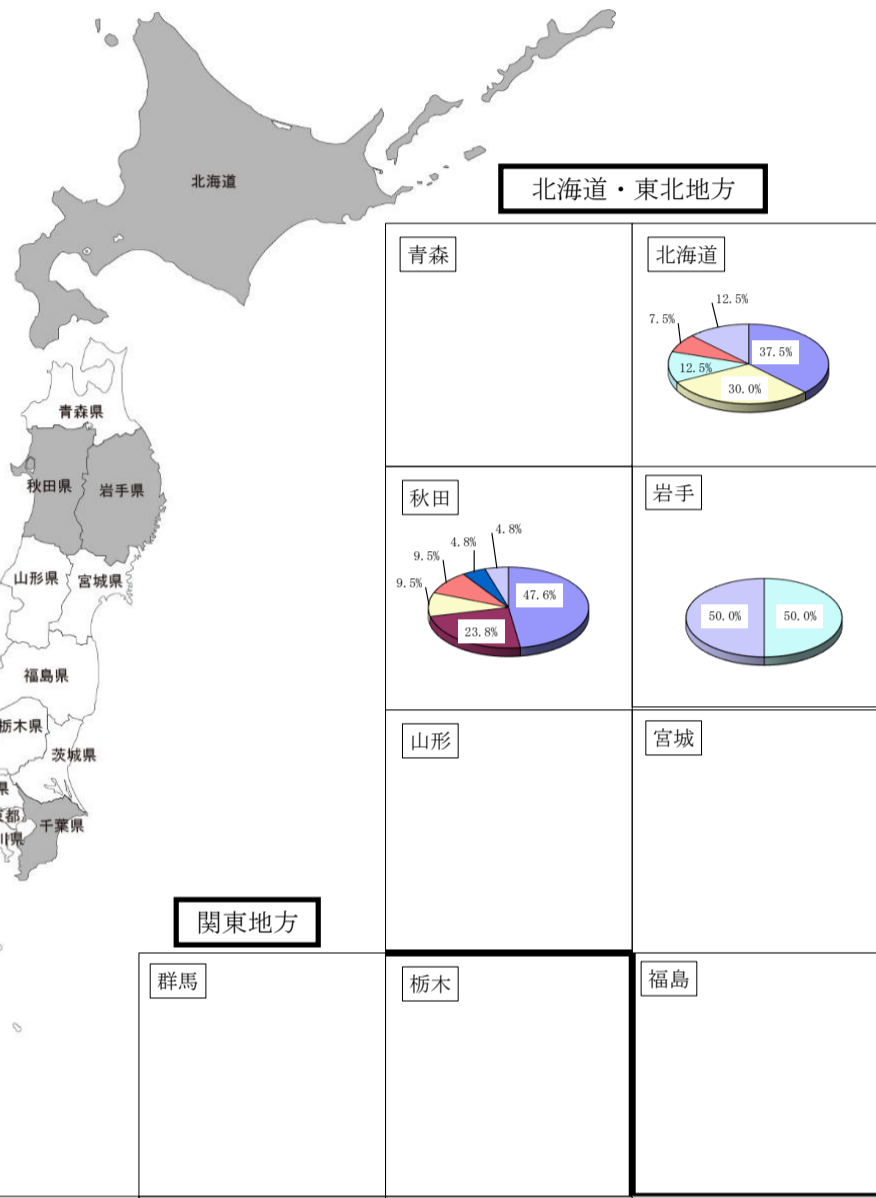
□ : 回答無し
■ : 回答有り

中国・四国地方

北陸地方

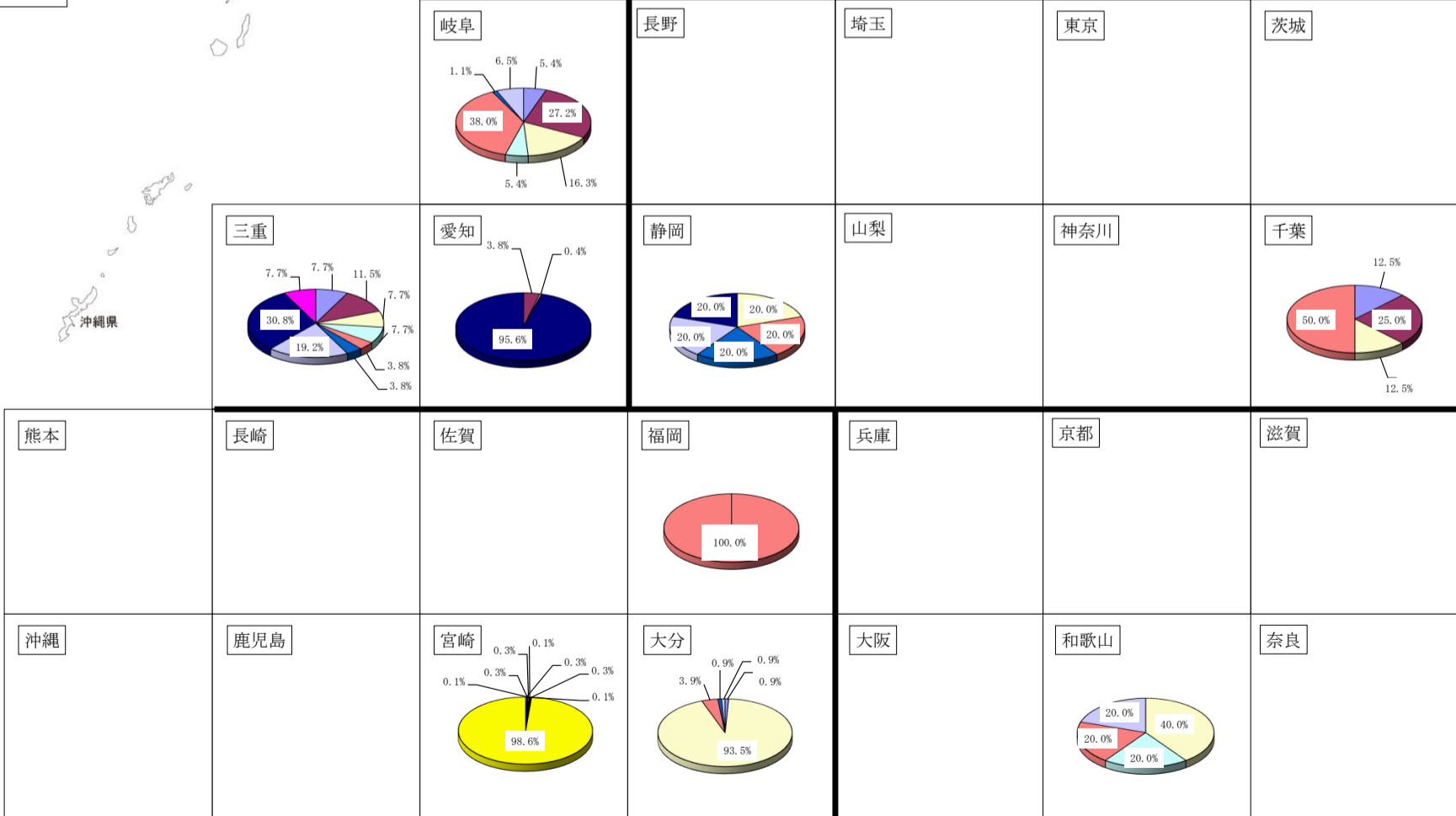


北海道・東北地方



関東地方

東海地方

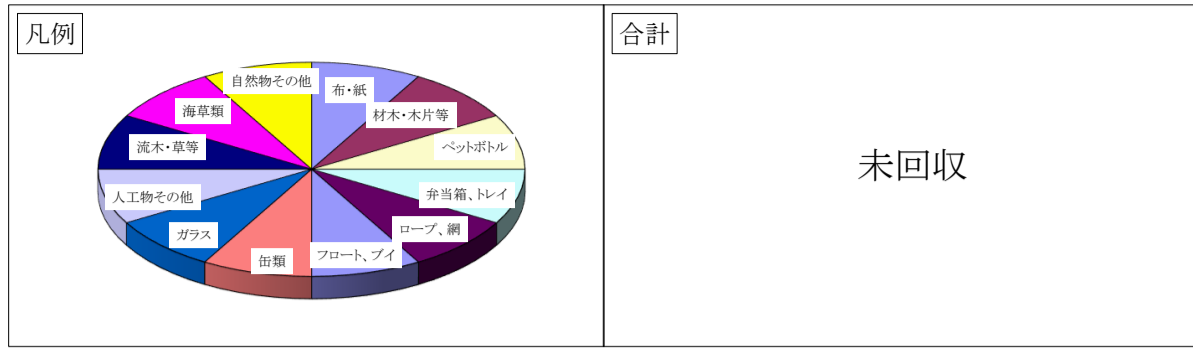


九州地方

近畿地方

注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。
グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 32 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況 (河岸)



清掃活動の規模
清掃距離 109 km

清掃人数 8,828 人
種類を把握しているごみ量 0 m³
種類を把握していないごみ量 242 m³
ごみ回収量合計 242 m³

	: 回答無し
	: 回答有り

中国・四国地方

北陸地方

鳥取	岡山	石川	新潟
島根	広島	福井	富山
山口	香川	徳島	
愛媛			
高知			

北海道・東北地方

青森	北海道
秋田	岩手
山形	宮城
群馬	栃木
福島	

関東地方

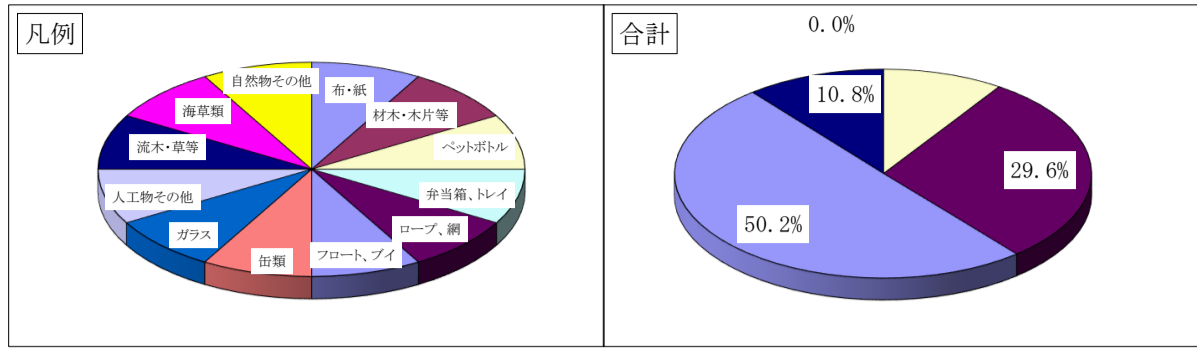
岐阜	長野	埼玉	東京	茨城
三重	愛知	静岡	山梨	神奈川
千葉				
熊本	長崎	佐賀	福岡	兵庫
京都	滋賀			
沖繩	鹿児島	宮崎	大分	大阪
和歌山	奈良			

九州地方

近畿地方

注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。
グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 33 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況 (湖岸)



清掃活動の規模

清掃面積	32 km ²
清掃人数	631 人
種類を把握しているごみ量	11 m ³
種類を把握していないごみ量	6 m ³
ごみ回収量合計	16 m ³



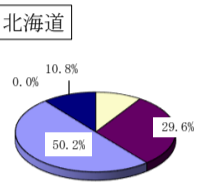
中国・四国地方

北陸地方

鳥取	岡山	石川	新潟
島根	広島	福井	富山
山口	香川	徳島	
愛媛			
高知			

北海道・東北地方

青森	北海道
秋田	岩手
山形	宮城



関東地方

群馬	栃木	福島
----	----	----

東海地方

岐阜	長野	埼玉	東京	茨城	
三重	愛知	静岡	山梨	神奈川	千葉

熊本	長崎	佐賀	福岡	兵庫	京都	滋賀
沖縄	鹿児島	宮崎	大分	大阪	和歌山	奈良

九州地方

近畿地方

注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。
グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 34 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況 (湖域)